平成２５年度 事業報告書

自　平成２５年４月１日　　至　平成２６年３月３１日

社会福祉法人長泉町社会福祉協議会

平成２５年度
社会福祉法人長泉町社会福祉協議会
事業報告

本会では、長泉町地域福祉活動計画及び平成２５年度の事業計画に基づき「ささえあう　みんなが　笑顔になれるまち」の実現に向けて、行政、民生委員・児童委員協議会、区長連絡協議会、福祉施設、福祉団体並びに関係機関との連携を図りながら町民の皆様と協働して社会福祉事業を推進した。

なお、平成２５年４月１日から平成２６年３月３１日までの事業ごとの内容は、次葉より報告する。

平成２６年５月１４日

社会福祉法人長泉町社会福祉協議会

会　長　　芹　澤　暉　二

事業報告書 目次

ページ

Ⅰ　一般会計

1　法人運営事業……1
2　地域福祉活動事業……14
3　在宅福祉推進事業……24
4　福祉団体事業……30
5　共同募金配分金事業……32
6　福祉会館事業……34
7　手話通訳者派遣事業……44
8　居宅介護支援事業……45
9　指定通所介護事業……47
10　指定訪問介護事業……51
11　障害福祉サービス居宅介護・重度訪問介護・同行援護事業……53
12　移動支援事業……54
13　地域活動支援センター事業……55
14　心身障害児放課後対策事業……57
15　児童館事業……59
16　小口資金貸付事業……63

Ⅱ　特別会計

1　在宅福祉総合センター事業……64
2　在宅福祉総合センター食堂事業……69

Ⅰ　一般会計

1　法人運営事業

⑴　会員の拡充と基本財源の確保

本会の支援基盤及び財政的基盤を強化し健全な運営を図るため、会員の募集を行った。

①　会員募集結果

平成 25 年度	会員数	会費収入
普通会員	11,678 口	3,503,400 円
特別会員	256 口	256,000 円
合　計	11,934 口	3,759,400 円
前年比		1.0%減

②　会員数の推移

年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
普通会員	11,324	11,293	11,472	11,534	11,683
特別会員	294	300	294	295	295
合　計	11,618	11,593	11,766	11,829	11,978
会費収入	3,691,200 円	3,687,900 円	3,735,800 円	3,755,200 円	3,799,900 円

⑵　定款・規程等の整備

①　定款変更　平成 26 年 3 月 27 日県知事認可書受理

静岡県指導監査を受け、事業名（移動支援事業）の追加及び公告の方法の追加を行った。

②　規程等の整備

ア　報酬及び費用弁償に関する規程

監事監査時における監事の労力に対し報酬を付与するようにするため、規程の一部改正を行った。（平成 25 年 4 月 1 日施行）

イ　経理規程

・静岡県指導監査を受け、経理区分「障害福祉サービス居宅介護・重度訪問介護事業」に「同行援護事業」を追加した。（平成 26 年 3 月 1 日施行）

・平成 26 年度経理区分新設に伴う経理区分名「指定認知症対応型通所介護事業」を追加した。（平成 26 年 4 月 1 日施行）

ウ　事務権限規程

静岡県指導監査の助言指導を受け、契約に関して会長が専決できる上限金額を設けた。（平成 26 年 4 月 1 日施行）

(3)　理事会・評議員会の開催状況

①　理事会

第１回理事会　出席者１１名／定数１４名

・期日　４月２５日

・議題　同意第１号　評議員の選任について

第２回理事会　出席者１１名／定数１４名

・期日　４月２５日

・議題　議第１号　　会長・副会長の選任について
　　同意第２号　会長の職務代理者の指名について
　　同意第３号　顧問の選任について
　　報第１号　　常務理事の指名について

第３回理事会　出席者１２名／定数１４名

・期日　５月２７日

・議題　同意第４号　平成２４年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会事業報告の認定について
　　同意第５号　平成２４年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会一般会計決算の認定について
　　同意第６号　平成２４年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会在宅福祉総合センター事業特別会計決算の認定について
　　同意第７号　平成２４年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会在宅福祉総合センター食堂事業特別会計決算の認定について

第４回理事会　出席者１２名／定数１４名

・期日　９月３０日

・議題　同意第８号　社会福祉法人長泉町社会福祉協議会　報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について
　　同意第９号　平成２５年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会一般会計補正予算（第１回）
　　同意第10号　平成２５年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会在宅福祉総合センター事業特別会計補正予算（第１回）
　　同意第11号　平成２５年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会在宅福祉総合センター食堂事業特別会計補正予算（第１回）

第５回理事会　出席者１２名／定数１４名

・期日　平成２６年２月２４日

・議題　同意第12号　評議員の選任について

同意第 13 号　社会福祉法人長泉町社会福祉協議会定款の一部改正
同意第 14 号　社会福祉法人長泉町社会福祉協議会経理規程の一部改正
同意第 15 号　平成２５年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会一般会計補正予算（第２回）

第６回理事会　出席者１３名／定数１４名
・期日　平成２６年３月２４日
・議題　同意第 16 号　社会福祉法人長泉町社会福祉協議会経理規程の一部改正
同意第 17 号　社会福祉法人長泉町社会福祉協議会事務権限規程の一部改正
同意第 18 号　平成２６年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会事業計画
同意第 19 号　平成２６年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会一般会計予算
同意第 20 号　平成２６年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会在宅福祉総合センター事業特別会計予算
同意第 21 号　平成２６年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会在宅福祉総合センター食堂事業特別会計予算
同意第 22 号　平成２６年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会入札等の執行について

③　評議員会
第１回評議員会　出席者２５名／定数２９名
・期日　４月２５日
・議題　議第１号　役員の選任について

第２回評議員会　出席者２０名／定数２９名
・期日　５月２７日
・議題　議第２号　平成２４年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会事業報告の認定について
議第３号　平成２４年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会一般会計決算の認定について
議第４号　平成２４年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会在宅福祉総合センター事業特別会計決算の認定について
議第５号　平成２４年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会在宅福祉総合センター食堂事業特別会計決算の認定について

第３回評議員会　出席者２０名／定数２９名

・期日　９月３０日

・議題　議題６号　社会福祉法人長泉町社会福祉協議会　報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について

議第７号　平成２５年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会一般会計補正予算（第１回）

議第８号　平成２５年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会在宅福祉総合センター事業特別会計補正予算（第１回）

議第９号　平成２５年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会在宅福祉総合センター食堂事業特別会計補正予算（第１回）

第４回評議員会　出席者２２名／定数２９名

・期日　平成２６年２月２４日

・議題　議第 10 号　社会福祉法人長泉町社会福祉協議会定款の一部改正

議第 11 号　平成２５年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会一般会計補正予算（第２回）

第５回評議員会　出席者２５名／定数２９名

・期日　平成２６年３月２４日

・議題　議第 12 号　平成２６年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会事業計画

議第 13 号　平成２６年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会一般会計予算

議第 14 号　平成２６年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会在宅福祉総合センター事業特別会計予算

議第 15 号　平成２６年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会在宅福祉総合センター食堂事業特別会計予算

議第 16 号　役員の選任について

(4)　監査及び行政機関調査の実施状況

①　監事監査

ア　決算監査

・期　日　５月１６日

・内　容　平成２４年度長泉町社会福祉協議会決算監査

・出席者　監事３名、会長、事務局長、職員１０名

イ　中間監査

・期　日　１１月１３日

・内　容　平成２５年度事業及び中間決算監査

・出席者　監事３名、会長、事務局長、職員８名

② 静岡県指導監査

・期　日　９月２０日

・内　容　平成２４～２５年度に係る社会福祉法人運営管理及び経理監査

・出席者　県職員３名、監事１名、会長、事務局長、職員７名
町福祉保険課２名

③ 町財政援助団体監査

・期　日　平成２６年２月３日

・内　容　平成２４～２５年度事業に係る町補助金、町受託金等監査

・出席者　町監査委員２名、監査事務局
会長、事務局長、職員２名、町福祉保険課２名

(5) 役員研修の実施状況

・研修名　平成２５年度市町社協会長会議、監事研修会

・期　日　４月１９日

・主　催　静岡県社会福祉協議会

・出席者　会長、事務局職員１名

(6) 長泉町地域福祉活動計画の推進及び実施

平成２４年度からの５ヵ年計画として第４次『地域福祉活動計画』を策定した。本計画は第２次、第３次計画と同様に行政計画である『地域福祉計画』と合同で策定を行い、基本理念として「ささえあう みんなが笑顔に なれるまち」を掲げた。

(7) 総合文書管理（ファイリング）システムの推進

情報公開制度、個人情報の保護を踏まえ、適正な文書管理、文書の共有化を組織的・継続的に実施。事務事業の効率化・執務環境の整備に努めた。

(8) 執務処理マニュアルの作成

迅速かつ適正な事務処理を実施するため、各事業における執務マニュアルを作成した。

(9) 苦情解決窓口設置事業

本会が実施している福祉サービスに対する利用者の苦情や意見を幅広く汲み上げ、サービスの改善を図る観点から苦情解決窓口を設置した。

また、中立公正な立場で苦情に対応する第三者委員を平成 14 年 11 月 1 日から設置した。

① 組織体制

苦情解決責任者	加藤孝雄
苦情受付担当者	青柳　元・平川雄大
第三者委員	須田滋郎、竹内和代

（第三者委員任期：平成 25 年 4 月 26 日から平成 27 年 4 月 25 日）

② 苦情解決の状況

施設名	内容					計
	ケア関係	嗜好・選択等	財産管理等	制度・施策等	その他	
福祉会館	0	0	0	0	6	6
いずみの郷	0	0	0	0	0	0
わかあゆ	0	0	0	0	1	1
児童館	0	0	0	0	0	0
合　計	0	0	0	0	7	7

③ 福祉サービスに関する苦情解決取扱状況について

今年度の苦情は以下 7 件であり直ちに改善に取り組んだ。

No.	区分	内　　容
1	日付	５月２５日
	内容	障害のある子供の公共の場所の利用について
	要望	わかあゆ利用児童 A が、児童館の砂場で遊んでいた申出人の子供（幼稚園児）に対しバケツに入った砂を頭からかけた時の本会職員の対応について。 ①突然保護者に抱きつく、砂をかけるという危険行為に対して何も対策がされていないことは問題と考える。 ②子供が砂をかけられた後、わかあゆ職員に雑巾を出されて腹が立った。また、児童館の水道で子供を洗ったが、福祉会館はお風呂もあるのだから利用させるべきではなかったか。
	対応	①に対する改善策 ア　わかあゆ利用児童 A の園庭利用について 翌日から児童 A の利用は当面 16 時 30 分以降とし、児童館の年少児童等との利用時間が重複しないようにした。 イ　職員研修の実施 わかあゆ指導員に対し、こども育成課専門職員による研

		修を行い、サービス水準の向上に努める機会を設けた。 ②に対する改善策 当日雑巾を出したわけではなかったが、今後、同様のことが起きた場合に備えて清潔なタオルを用意し、必要に応じてお風呂等を使用してもらう等、現場対応の方針を改めた。
2	日付	９月４日
	内容	福祉会館施設について
	要望	浴室ミストサウナに水風呂をつけて欲しい。（小さくても可）
	対応	水風呂は温まった体を一気に冷やすため、急性心不全や立ちくらみなど心臓に負担がかかる懸念があるため、高齢者が主体として利用する施設として設置していない。今後要望があった場合は、シャワー等の利用を案内することとした。
3	日付	９月５日
	内容	福祉会館従業員の態度について
	要望	従業員Ａの言葉遣いが悪く不愉快な気分にされられる。態度を改めて欲しい。
	対応	従事者Ａには言葉遣い等の態度を改めるよう指導し、福祉会館従事者全員に利用者対応の改善について周知した。
4	日付	９月９日
	内容	福祉会館従業員の態度について
	要望	大広間の席を団体予約し外出後、戻ったら別の団体がいた。手違いにより他の席に座ることは仕方がないと思うが、従業員Ａの態度にその場の全員が嫌な思いをした。改めて欲しい。
	対応	従事者Ａには態度を改めるよう直接口頭で指導した。本件については、派遣元のシルバー人材センターへ報告しており、派遣元からも従業員Ａに対し指導を行った。今後問題があるようであれば従業員の交代も検討する。
5	日付	１０月８日
	内容	入浴時間の延長及び、風呂の利用について
	要望	入浴時間の延長と洗わずに湯船に入る方への注意。
	対応	８月～９月期に実施した入浴時間の延長は試験的に実施しているものであることを申出人に説明し、翌年度も夏季期間に夜間営業することを伝えてご理解いただいた。 入浴前に洗わずに湯船に入る方への注意は、脱衣所に注意書きを掲示するとともに頻繁な場合は口頭で注意することとした。また、入浴者多数の時は洗い場が少ないこと（手前６箇所、奥５箇所）の影響があるため注意書きに待機いただくことを追記することとした。

6	日付	１１月１１日
	内容	入浴時間の延長について
	要望	入浴時間を１９時まで延長して欲しい。
	対応	８月～９月期に実施した入浴時間の延長は試験的に実施しているものであることを申出人に説明し、翌年度も夏季期間に夜間営業することを伝えご理解いただいた。
7	日付	１月１３日
	内容	正月の営業について
	要望	正月の三が日（元日を除く）の営業をして欲しい。
	対応	正月の三が日の休業は町条例で定められていることを説明した。また、このような要望が多数あり、三が日に業務体制を整えることが可能であれば町を通じて運営委員会へ検討・提案させていただくことも説明しご理解いただいた。

⑽　事務局体制の整備と職員の資質向上

業務充実のため適正な職員配置と研修への参加により職員の資質向上を図った。また、職員に対し業務に必要な資格の取得について啓発、奨励した。

①　職員数の状況　　（単位：人）

区　　分	正　規	嘱　託	パート	登録	東電派遣	合　計
平成 26 年 4 月 1 日	２２	4	２５	１２	0	６３
平成 25 年 4 月 1 日	２２	4	２８	１３	1	６８
増　　減	0	0	△３	△１	△１	△５

②　研修参加状況　（別表による）

平成25年度　研修会等参加状況（法人運営事業他）

長泉町社会福祉協議会事務局

日　　時	内　　容	参加者
4月9日	平成25年度生活福祉資金新任担当者研修会	事務局職員　1名
4月16日	市町社協経営基盤強化検討委員会	事務局職員　1名
4月19日	平成25年度市町社会福祉協議会会長会議、監事研修会	局長、 事務局職員　1名
4月24日	エルシステム経理担当者決算セミナー	事務局職員　1名
4月26日	市町村社会福祉協議会生活福祉資金担当者（相談員）研修会Ⅰ	事務局職員　1名
4月30日	平成25年度第1回市町社会福祉協議会事務局長会議	事務局長　　1名
6月4日	平成25年度日常生活自立支援事業専門員研修会（基礎編）	事務局職員　1名
6月4日	平成25年度第1回日常生活自立支援事業専門員連絡会	事務局職員　1名
6月24日	平成25年度総務担当者会議・新会計基準研修会	事務局職員　2名
7月2日～3日	平成25年度社会福祉協議会活動全国会議	事務局職員　1名
7月10日	市町社協経営基盤強化検討委員会	事務局職員　1名
7月11日～12日	第50回関東ブロック郡市区町社協職員合同研究協議会	事務局職員　1名
7月23日	平成25年度人事・労務管理研修会	事務局職員　1名
7月24日	生活福祉資金の実務的課題に関する作業委員会	事務局職員　1名
7月31日	市町地域福祉計画研修会（事例発表）	事務局職員　1名
8月7日	運営監視合議体（福祉サービス利用援助事業実施状況説明）	事務局職員　1名
8月28日～30日	高知県社会福祉協議会事業視察	事務局職員　1名
9月18日	平成25年度市町社会福祉協議会新会計基準移行研修会	事務局職員　1名
9月26日	第6回市町社協経営基盤強化検討委員会	事務局職員　1名
10月22日	平成25年度静岡県健康福祉大会	会　長　　他12名
10月25日	平成25年度日常生活自立支援事業専門員研修会（応用編）	事務局職員　1名
11月14日	東海財務局による多重債務相談の実務研修	事務局職員　1名
11月14日	平成25年度第8回日常生活自立支援事業契約締結審査会	事務局職員　1名
11月15日	平成25年分年末調整等説明会	事務員　　2名

平成25年度　研修会等参加状況（法人運営事業他）

長泉町社会福祉協議会事務局

日　　時	内　　容	参加者
11月22日	新会計基準移行研修会	事務局職員　1名
11月28日	第1回静岡県生活困窮者自立支援推進研究会	事務局職員　1名
11月29日	平成25年度社会福祉協議会災害対応研修	事務局職員　1名
12月5日	第7回市町社協経営基盤強化検討委員会	事務局職員　1名
12月17日	生活福祉資金の実務的課題に関する作業委員会	事務局職員　1名
1月21日	第2回静岡県生活困窮者自立支援推進研究会	事務局職員　1名
2月20日	市民講座ＡＤＲを活用しよう～民間ＡＤＲの普及・浸透を目指して～	事務局職員　1名
3月5日	平成25年度日常生活自立支援事業第2回新任生活支援員研修会	事務局職員　1名
3月12日	市町村社会福祉協議会生活福祉資金担当者（相談員）会議	事務局職員　1名
3月19日	平成25年度市町社会福祉協議会決算実務研修会	事務局職員　1名
3月25日	佐倉市社会福祉協議会視察研修	事務局職員　1名

平成25年度　研修会等参加状況（児童館事業）

長泉町社会福祉協議会事務局

日　　時	内　　容	参加者
5月29日	平成25年度静岡県東部地区児童厚生施設連絡協議会 総会・第1回研修会	担当職員　1名
10月17日	平成25年度静岡県東部地区児童厚生施設連絡協議会 第3回研修会	担当職員　1名
11月12日	平成25年度静岡県東部地区児童厚生施設連絡協議会 視察研修	担当職員　2名

平成25年度　研修会参加状況（心身障害児放課後児童対策事業）

長泉町社会福祉協議会事務局

日　　時	内　　容	参加者
10月22日	御殿場特別支援学校　学校見学会	担当職員　5名

平成25年度　研修会参加状況

在宅福祉総合センターいずみの郷

日　程	内　　容	参加者
5月30日	広報担当者研修	居宅支援 1 名 通所介護 1 名
6月7日	コミュニティーワーク研修	通所介護 2 名
6月21日	認知症介護従事者第1回研修	居宅支援 3 名 通所介護 1 名 訪問介護 3 名
7月4日	ひきこもり支援者研修会	居宅支援 1 名
7月10～11日	介護支援専門員専門研修	居宅支援 1 名
7月17日	介護支援専門員専門研修	居宅支援 1 名
7月19日	認知症介護従事者第2回研修	訪問介護 2 名
7月22日	介護支援専門員専門研修	居宅支援 1 名
7月23日	精神保健福祉研修会	通所介護 1 名
7月26日	ひきこもり支援者研修会	居宅支援 1 名 通所介護 1 名
8月5日	認知症セミナー	居宅支援 4 名
8月9日	静岡県ホームヘルパー連絡協議会一般研修	訪問介護 1 名
8月19日	介護支援専門員専門研修	居宅支援 1 名
8月21日	主任介護支援専門員研修	居宅支援 1 名
8月21日	介護支援専門員専門研修	居宅支援 1 名
8月22日	認知症介護従事者第3回研修	居宅支援 3 名 通所介護 4 名 訪問介護 3 名
8月22日	静岡県ホームヘルパー連絡協議会サービス提供責任者研修	訪問介護 1 名
8月28日	主任介護支援専門員研修	居宅支援 1 名
9月5日	主任介護支援専門員研修	居宅支援 1 名
9月12日	主任介護支援専門員研修	居宅支援 1 名
9月13日	重症心身障害児（者）対応介護従事者養成研修	居宅介護・重度訪問・同行援護1名
9月18日	赤十字減災セミナー	訪問介護 2 名
9月20日	主任介護支援専門員研修	居宅支援 1 名
9月24日	認知症介護従事者第4回研修	居宅支援 2 名 通所介護 3 名 訪問介護 3 名

平成25年度　研修会参加状況

在宅福祉総合センターいずみの郷

日　程	内　　容	参加者
10月3日	主任介護支援専門員研修	居宅支援 1 名
10月15日	主任介護支援専門員研修	居宅支援 1 名
10月16日	認知症介護従事者第5回研修	居宅支援 2 名 訪問介護 3 名
10月21日	福祉サービス苦情解決研修	センター 1 名 居宅支援 1 名
10月22日	認知症介護従事者第6回研修	居宅支援 2 名 通所介護 1 名 訪問介護 1 名
10月22日	精神保健福祉研修会	訪問介護 1 名
10月24日	学校・施設を対象とした感染症食中毒予防対策講座	通所介護 1 名
10月24日	高次脳機能障害支援従事者研修会	居宅支援 2 名
10月31日	主任介護支援専門員研修	居宅支援 1 名
11月8日	罪を犯した高齢者・障害者の行方啓発研修	居宅支援 1 名
11月13日	主任介護支援専門員研修	居宅支援 1 名
11月16～17日	同行援護従事者養成研修	居宅介護・重度訪問・同行援護2名
11月22日	認知症介護従事者第7回研修	居宅支援 3 名 通所介護 3 名 訪問介護 3 名
11月23日	退院後の生活を支える医療・介護連携研修	居宅支援 2 名
11月23～24日	同行援護従事者養成研修	居宅介護・重度訪問・同行援護2名
11月27日	主任介護支援専門員研修	居宅支援 1 名
12月14日	食育講習	居宅介護・重度訪問・同行援護14名
1月15日	難病患者等ホームヘルパー養成研修	訪問介護 1 名

平成25年度　研修会参加状況

在宅福祉総合センターいずみの郷

日　程	内　　容	参加者
1月17日	認知症介護従事者第8回研修	居宅支援 3 名 通所介護 1 名 訪問介護 3 名
1月25日	山積み課題をみんなでコクフク研修	居宅支援 1 名
2月6日	地域におけるセーフティネット推進セミナー	通所介護 1 名
2月18日	ホームヘルパー連絡協議会研修	訪問介護 1 名
3月24日	生活支援サービス推進セミナー	居宅支援 1 名

2　地域福祉活動事業

⑴　地域福祉活動計画の推進（平成２４年度～平成２８年度）

「ささえあう　みんなが笑顔に　なれるまち」を基本理念とし、誰もが住み慣れた地域で生涯にわたって自分らしく安心して暮らすことができるよう、重点方向を掲げた。区長、住民、民生委員・児童委員、福祉団体、関係者等の支援をいただきながら、行政と連携して地域福祉の町づくりを推進した。

①　重点方向１「団塊世代の元気パワーの活用」

今現在、ボランティア活動や地域での活動に参加されている方の多くは女性であり、男性が地域の活動などになじめるプログラムの開発と工夫が課題である。今年度も引き続き、過去、男の料理教室に参加された方又は、新たに参加される方も加わり、２回の講座をおこない今後、小地域福祉活動（サロン活動）を行なっている地区に出向き、昼食会等行ないサロン参加者、サロンボランティア等と男性達との交流の場を増やす。

ア　男の料理教室

・開催日　８月１８日（日）
・参加者　９名
・講　師　芹澤正江（いずみの郷、管理栄養士）
・内　容　町内在住、在勤の男性を対象に旬の食材を使用し料理の腕を磨きながら男性同士の交流を図り、また、地域でのサロン活動参加への協力を促した。

イ　男の料理教室（男のそば打ち）

・開催日　１２月８日（日）
・参加者　１８名
・講　師　鈴木絹代氏（南駿農業協同組合女性部）
　　芹澤正江（いずみの郷、管理栄養士）
・内　容　町内在住、在勤の男性を対象に人気のあるそば打ちを行いながら男性同士の交流を図り、また、地域でのサロン活動参加への協力を促した。

②　重点方向２「未来を担う次世代のための出会いの場の提供」

これからの町を担う子どもを増やすとともに、人口増加につなげるために結婚のチャンスを増やす機会を提供する。

ア　商工会主催縁活パーティー視察

・開催日　８月２４日（土）１８：３０～２１：００
・場　所　和楽（和風居酒屋、竹原 288－1）
・参加者　男性１７名　女性１７名
・内　容　お見合い形式のパーティー。５分ごとに席を移動して、全参加者が一通り会話をした。２組のカップルが成立。

イ　商工会主催縁活パーティー協力

・開催日　１２月７日（土）１９：００～２２：００

・場　所　パスタマン（イタリア料理、納米里 67－3 ヴィラテラス 2F）

・参加者　男性１５名　　女性１５名

・内　容　社協も協力という形で１０月１７日の実行委員会から参加。
町内の社会福祉施設や公共施設にチラシを配布した。
お見合い形式のパーティー。６人（男女３人ずつ）の
テーブルで、１０分ごとに移動。1組のカップルが成立した。

ウ　メイクで好感度アップ！『ステキ女子教室』の開催

・開催日　　２月１日（土）１０：００～１４：００

・場　所　　いずみの郷３階集会室

・参加者　　１５名

・講　師　　小塩　京子（認定エステティシャン・リンパケアリスト）
アシスタント１名

・内　容　　素敵な出会いを引き寄せるきっかけ作りの場として、町内在住、在勤の独身女性を対象としたメイクアップ講座を実施した。

③　重点方向３「地域のみんなで楽しく子育て『プレイグループ』の普及」

住民発の自発的でアットホームな子育て支援のサークル『プレイグループ』の普及のため、運営協力者の発掘や人材育成に取り組む。

ア　平成２５年度子育てサロン開催地区　シャルマン竹原区

・会　場　シャルマン竹原区　集会室

・内　容　児童館と小地域福祉活動と連携、シャルマン竹原区集会室を使用し、マンション内の親子に遊び場を提供。小地域連絡員と児童館に精通している方２名と運営した。

	幼児	大人	計
4月30日	2	2	4
5月28日	2	3	5
6月25日	1	1	2
7月19日	2	2	4
9月17日	4	4	8
10月16日	1	1	2
11月14日	3	5	8
12月12日	2	2	4
1月10日	0	2	2
2月5日	2	2	4
3月6日	0	2	2
合計	19	26	45

イ　平成２６年度子育てサロン開催予定地区　三軒家区

元三軒家区民生委員より、「子育てサロンに関心があり他の地域のことや細かな内容を聞いてみたい」とのお話があり、まずは事前打ち合わせから進めていった。

・１１月１８日（月）打合せ会（元三軒家区民生、社協）
・１２月１６日（月）打合せ会（三軒家区長、元民生、保健師、社協）
・　２月２７日（木）打合せ会（三軒家区長、元民生、児童館、社協）

打合せ会から今後の展開として、区長より「まずは三軒家区内にあるエンゼル西区にも声をかけてはどうか。夏祭りに参加されたり、徐々に交流ふれあいの機会が増えている」との意見もあり、今後、両区長を含む関係者等の連絡会を行う。

④　重点方向４「小地域生活支援体制づくりの推進」

誰もが、その人らしく、できる限り住み慣れた地域で暮らすことができるよう支援するという考え方のもと、地域で支えていくという地域社会、地域住民における役割の重要性が認識されつつあり、住民による自主的な福祉活動の推進や、地域における総合的な支援体制の構築が必要となる。また、各種関係団体等との連携や小地域福祉活動実施地区を拡大するとともに組織の拡充を図っていくよう支援した。

ア　民生委員・児童委員協議会活動との連携

・地域福祉活動を推進するため、日頃から民生委員・児童委員との連携を図るとともに活動費の支援を行った。
・役員会　月１回　初旬　　・定例会　月１回　中旬
・民生委員・児童委員活動を通した地域の特色や課題を把握し、地域福祉活動の推進に活かすことを目的に、民生委員・児童委員協議会の行う『地域ブロック会議』『地域ブロック長会議』に参加した。
　・地域ブロック会議（８ブロック）　計１６回参加
　・地域ブロック長会議　計４回参加

イ　小地域福祉活動推進事業

地域の福祉課題の解決は地域の人たちが中心になって行うことを目標に、区長を通じて区単位にサロン活動の普及を推進した。また、活動の担い手であるボランティアの養成を図り住民主体によるきめの細かい福祉活動の推進ができるよう支援を行った。

・平成２５年度指定　２５区
・活動費の助成・・・年額５０，０００円／区

ウ　連絡会並びに講演会の開催

・開催日　４月２７日（土）
・参加者　４４名
・講　師　平田　厚　氏（静岡福祉文化を考える会代表）

・内　容　各地区の（区長、小地域福祉活動連絡員、サロンボランティア、いきいきクラブ長泉や民生委員等）を対象に「小地域福祉活動の意義と新たな展開について」と題し、講演会を行った。

エ　レクリエーション研修会の開催

・開催日　７月１２日（金）、９月２０日（金）、１１月１５日（金）
・参加者　延べ６３名
・講　師　内藤ルミ子　氏（健康運動実践指導者）
・内　容　小地域福祉活動の実践者等を対象に、サロンで楽しむレクリエーション講座として「地域で出来る簡単レクリエーション」を開催し、レクリエーションの意義と技術の習得を目的に実施。

⑤　重点方向５「情報を必要とする人に届く新たな情報発信体制の拡充」社協広報紙『福祉ながいずみ』やホームページによる情報提供だけでなく、さらに、情報に関心のある方に個別に情報が行き届くようにするため、メールマガジン等の発行の検討を行なう。

ア　はじめてのスマートフォン講座（シニア向け）

・開催日　３月２８日（金）
・参加者　３９名
・講　師　NTT ドコモ東海支社インストラクター４名
・内　容　情報を多面的に発信することが求められている中で、近年、若年世代からシニア世代にかけてスマートフォン等携帯情報端末の利用者の増加により、新たな情報発信受信手段となっていることからシニア世代を対象としたスマートフォン講座を開催した。

⑥　重点方向６「みんなで見守るネットワークの構築」

認知症や徘徊高齢者などの見守り支援体制のネットワーク化を図り、みんなで見守る、子どもやお年寄りにやさしい町とするため、関係各方面との情報連絡体制の強化に努める

ア　町認知症を考える地域会議参加協力

認知症の早期発見、早期対応が重要であり、認知症という疾患を多くの方が正しく理解し、その家族等に適切な対応が提供されるシステムづくりを、行政・個人・地域・関係機関・医療・ボランティア等が連携を図り構築していく。（社協としてはシステムづくりの中のボランティア育成を担当していく）

・　５月　９日　町地域包括支援センター打合せ
・　６月１４日　町地域包括支援センター打合せ
・　７月２４日　認知症を考える会地域会議
・１１月２０日　認知症を考える会地域会議
・　１月２２日　認知症を考える会地域会議

(2)　ボランティア事業の推進

①　ボランティア団体支援事業

ボランティア活動を円滑に進めるため、活動の拠点となる福祉団体室、ボランティアルームを貸し出し、関係図書等を整備した。また、福祉団体室内の点字プリンターやパソコンを点訳活動に活用していただいた。

なお、ボランティア団体の把握をし、連絡調整を総合的に行った。

ア　団体数　３０団体（前年比３団体減、１団体増）

イ　会員数　７７２名（前年比８１名減）

※長泉町ボランティア連絡会加入団体のみ

② ボランティア情報提供事業

ボランティア活動への参加促進を図るため、広報啓発活動を行った。

ア『福祉ながいずみ』…＜ボランティア情報＞

イ　ホームページ…ボランティア情報（ボランティアとは・団体紹介他）

ウ　ボランティア情報館内掲示板…福祉会館いずみの郷連絡通路に設置

③ ボランティア養成事業

ボランティア活動への参加と理解を促すため、入門講座等を開催した。

ア　外出支援サポーター養成講座

・開催日　６月１５日（土）

・参加者　１７名

・講　師　講義：杉山高司氏（長泉町身体障害者福祉会長）
　　奥村亮子氏（長泉町手をつなぐ育成会長）
　　実技：中村美由紀（いずみの郷、訪問介護事業所主任）
　　曽田かよ子（いずみの郷、訪問介護事業所職員）

・内　容　講座を通して、身体障がい者の理解をはじめ、当事者の日々の生活についても話をいただき、地域の身体障がい者の福祉の増進とボランティアの育成を図り、地域福祉の向上を目的とした。

イ　夏休み子ども手話教室

・開催日　７月２７日（土）～７月３０日（火）

・参加者　２３名（低学年 11 名・高学年 12 名）

・講　師　手話サークル「ふくろうの会」が低学年、「いずみの会」が高学年を担当。

・内　容　長泉町内の小・中学生を対象に高学年クラス、低学年クラスに分かれ、それぞれに手話や手話歌、災害時での手話などの学習によるコミュニケーションを通じ、聞こえない人との交流を図り聴覚障がい（者）への理解を深める。

ウ　傾聴ボランティア養成講座

・開催日　２月２６日（水）・２８日（金）

・参加者　２７名

・講　師　山田豊吉 氏（NPO 法人ﾎｰﾙﾌｧﾐﾘｰｹｱ協会）

・内　容　デイサービスやグループホーム利用者、病院の患者、小地域サロンやいきいきクラブ友愛訪問活動の対象者など人と

関わることを求めている人のために、身近な話し相手として活動する「傾聴ボランティア」の養成を図る。

エ　楽しいコミュニケーションづくり講座
・開催日　　３月２２日（土）
・参加者　　５０名
・講　師　　石田 望　氏
（神奈川県立総合教育センター　教育心理相談員）
・内　容　　コミュニケーションを通じて人と人、地域の方々がつながり合うことの大切さに改めて気づき、様々なボランティア活動や人との関わり合いを必要とする方々の一助となるよう行った。

④　ボランティア活動支援事業
ア　ボランティア保険への加入
社協を拠点として活動していない個人や団体からの保険の相談に応じ、全社協のボランティア保険へ加入事務の手続きを行った。
イ　社協バスの運行による活動支援
ボランティア実践者に対し、ボランティア活動時の送迎や視察研修時の交通手段として社協バスを運行し活動を支援した。
ウ　福祉会館会議室等の使用料減免
登録ボランティア団体に対し福祉会館会議室等の使用料減免をした。
エ　収集品の受け入れ窓口及び送料の負担
使用済み切手、使い古しの木綿の布、牛乳パック、プルタブの収集を行った。収集品はボランティアにより整理され、関係機関へ届けられた。また、収集品を関係機関に郵送する際必要な送料を負担した。
オ　給食ボランティア衛生管理
給食ボランティアを対象に検便を行い、食中毒の防止と健康状態の把握を行うなどの衛生管理を実施した。

⑤　東日本大震災への対応
平成２３年３月１１日に発生した東日本大震災への対応について、情報収集を行うとともに義援金の募集を行った。また、災害ボランティア希望者の相談、ボランティア活動保険の加入受付を継続した。
・義援金：2,323,604円（平成23年～平成26年3月31日）
・災害ボランティア活動保険加入数：２０名

⑥　西伊豆町災害ボランティア本部運営支援
７月１７日（水）の夜から１８日未明にかけての大雨の影響で、家屋の浸水や土砂災害、河川の氾濫により床上、床下浸水等の被害が多く出た。そのような中、静岡県社協より本部運営スタッフ職員派遣の依頼があり、職員２名を派遣した。また、災害ボランティアネットワーク長泉と連携し、会員に周知、調整してボランティア活動者を支援した。
ア　職員派遣

・７月２０日（土）１名派遣（資機材班担当）
・７月２１日（日）～２２日（月）１名派遣（オリエンテーション班担当）
イ　災害ボランティアネットワーク長泉ボランティア活動支援
・７月２０日（土）３名活動（土砂かき、家財類搬出等）

⑦　小山町雪害ボランティア本部運営支援
２月１４日未明からの記録的な大雪の影響で、小山町須走地区では地域をつなぐ４本の道路が不通、住民の中には、玄関が開かなく２階の窓から外にに出る状況。そのような中、静岡県社協より本部運営スタッフ職員派遣の依頼があり、職員８名を派遣した。また、災害ボランティアネットワーク長泉と連携し、会員に周知、調整してボランティア活動者を支援した。
ア　職員派遣
・２月２０日（木）１名派遣（ニーズ調査班担当）
・２月２１日（金）１名派遣（ニーズ調査班担当）
・２月２２日（土）５名派遣（本部運営、除雪作業）
３名派遣（午後より除雪作業）
イ　災害ボランティアネットワーク長泉ボランティア活動支援
・２月２２日（土）２名活動（除雪作業等）

⑧　ボランティア相談事業
ボランティア入門、活動上の相談、支援の依頼等、３件の相談及び需要調整を行った。

(3)　福祉啓発及び福祉教育の推進
住民への福祉啓発のため講演会等の行事開催や児童生徒に対する福祉教育を推進するため福祉施設等と連携し、実践活動に取り組んだ。
①　福祉教育実践校事業
児童及び生徒の社会福祉への理解と関心を高め、地域社会を巻き込んだ福祉を進めるため、福祉教育実践校を指定し活動を支援した。

指定校	実　施　期　間
長泉小学校	通算１９年目
南小学校	通算２０年目
北小学校	通算１９年目
長泉中学校	通算２０年目
北中学校	通算１９年目
三島高等学校	通算１８年目

ア　活動費の助成　　１校あたり年額１００，０００円
・高齢者、妊婦疑似体験セット、車いすスロープ、福祉講演会講師料、点字ブロックセット、白杖、タイムタイマー、福祉施設視察研修費他
イ　担当者打合せ会

福祉教育の円滑な推進を図るために関係者の打合せ会を開催した。

・開催日　４月１８日（木）
・会　場　福祉会館研修室
・参加者　１３名（学校関係５名、福祉施設関係５名、社協３名）

② 福祉大会の開催

社会福祉への尽力者に対する顕彰並びに福祉講演会による福祉活動への参加促進を図るため、福祉大会を開催した。

・開催日　５月２５日（土）
・会　場　在宅福祉総合センターいずみの郷３階集会室
・内　容　長泉町社協表彰規程に基づく福祉功労者等への表彰
　福祉講演会　講師：片岡　亮太　氏（和太鼓＆パーカッション奏者）
　演　題：人権について（～誰もが『自分が居て良いんだ』と思える社会へ～）
　参加者：１５４名

③ 中学生体験学習事業

町内の中学生を対象に福祉施設で２～３日間の体験をすることにより福祉に対する理解を深めるともに社会性を培うことを目的に実施した。

・実施期間　７月２５日～８月２８日のうち施設の指定する２～３日間
・参加合計　７４名
・協力施設　児童関係　中央保育園、竹原保育園、あそか保育園
　介護関係　いずみの郷、さつき園、博寿園
　障がい者関係　ほほえみ＆みのり工房、わかあゆ
・内　容　町内中学生を対象に、施設従事者や利用者と接し、生きることの尊さやボランティア、福祉に対する理解を深めるため、保育園では保育士の手伝い・園児の世話・園舎内外の清掃、高齢者福祉施設では、話し相手・配膳・レクリエーション参加、障がい者福祉施設では、利用者支援・授産作業の手伝い等を行なった。

④ 企業の社会貢献推進事業

町内法人、事業所６１社に対して、社会福祉協議会への寄付を呼びかけた。

⑤ 社会福祉援助技術現場実習生の受け入れ

当期は実績なし。

⑥ 福祉健康まつり開催事業

福祉と健康について理解を深め、地域福祉活動への参加促進を図るため、第２５回福祉健康まつりを開催した。

・開催日　１０月２０日（日）
・会　場　福祉会館、ウェルピアながいずみ、児童館、在宅福祉総合センターいずみ郷及び周辺駐車場
・内　容　福祉・健康づくりの啓発、福祉施設・団体の作品展示と模擬店、

ステージ、福祉会館無料開放、おまつり臨時バスの運行

⑷　広報・啓発活動

①　情報提供事業

町民に対する福祉の啓発と福祉活動への参加を促進するため、『福祉ながいずみ』を毎月発行し、併せてホームページの運営を行った。

・社協広報誌『福祉ながいずみ』　発行部数 15,800 部
平成 25 年 5 月 1 日号（No.173）～平成 26 年 4 月 1 日号（No.184）

⑸　関係機関・団体との連携

①　長泉町ボランティア連絡会支援事業

町内のボランティアグループが協働してボランティア活動の振興を図ることを目的に設立した長泉町ボランティア連絡会への支援を行った。

ア　事業等の運営に対する支援
・正副会長会、理事会の開催
イ　事業運営費（２０万円）の補助

②　社会福祉関係事業所との連携と情報の共有体制の確立
より効果的な地域福祉活動を進めるために社会福祉関係の事業所との連絡調整に努めた。
ア　ボランティアの斡旋・調整
・傾聴ボランティア活動調整（町内高齢者施設、地域包括支援センター等）
イ　町内小・中・高等学校、町内各施設との情報交換

(6)　高齢者援護活動の推進
長寿を祝し祈念する目的で開催される敬老会を町との共催により実施した。
・開 催 日　９月８日（日）
・会　　場　文化センターベルフォーレ
・内　　容　式典、演芸
・職員参加　４名（はがき指導１名、受付・写真・昼食準備１名、
消込１名、一般案内・中学生ボラ１名）
・該 当 者　男性２，７６７名　女性３，５６７名 合計６，３３４名

(7)　精神障害者援護活動の推進
東部ハート＆ハート（運動会及びバザー）実行委員として運営に参画。各市町及び病院、施設、家族会等関係機関と広域的な連携を図った。
・開催日　１２月７日（土）
・会　場　三島市市民体育館
・参加者　３１８人（当事者１４５人、職員１４９人、その他２４人）

(8)　駿豆地区障がい者自立支援協議会(全体会)
この協議会は県東部地区３市３町の行政、相談支援事業所、サービス提供事業所、当事者会等により構成されている。
全体会は、地域子育て支援部会、就労部会、地域くらし部会、地域生活支援事業検討部会の４つの専門部会の報告を受け、多職種機関との情報交換と連携を図っている。平成２５年度は２回開催され協議委員として出席した。

(9)　手話奉仕員養成講座「基礎」課程の開催
聴覚障害の生活及び関連する福祉制度について理解と認識を深め、また手話で日常会話を行うのに必要な手話技術や手話表現技術の習得を図った。
・開催日　５月１６日（木）～１１月２１日（木）毎週木曜　全３０講座
・会　場　長泉町福祉会館
・対象者　手話奉仕員養成講座「入門」課程修了者
・参加者　１７名（内１０名が修了）

3　在宅福祉推進事業

(1)　福祉総合相談事業

町民の身近な相談機関として、福祉に関することをはじめ、様々な悩みや心配事などの相談に応じ、福祉ニーズとサービスを結ぶ支援体制として、民生委員・児童委員や他機関との連携を図りながら、総合的に相談業務を行った。また、相談専用電話を設置し、匿名も含め電話での相談に応じた。

・開設時間　月曜日～金曜日　午前8時15分～午後5時
・開設場所　福祉会館3階相談室
・相談件数　293件
・相談人数　293人（男性144人，女性149人）
・相談方法　293件（来所60件，電話170件，訪問63件）

相談内容・処理状況					
区分	解決	再来	民生委員	機関紹介	計
生計	1	32	1		34
年金					0
職業・生業		50			50
住宅	2	4			6
家族		1	1		2
結婚					0
離婚					0
健康・衛生					0
医療				1	1
精神保健	1	43		2	46
人権・法律	3	12		1	16
財産					0
事故	1				1
児童・母子福祉		7			7
教育・青少年		1			1
心身障害者福祉	2	35	1	4	42
母子・父子福祉					0
老人福祉	3	71	4	8	86
苦情		1			1
その他					0
合計	13	257	7	16	293

なお、9月から月1回、失業者および低所得者の社会参加支援として、生活福祉資金、小口資金償還中の者を対象に、福祉ながいずみ発送作業と茶話会を実施した。

実施月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
参加者人数	0	0	1	1	1	1	1

(2) 日常生活自立支援事業

本事業は、認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など判断能力は十分ではないが、契約能力を有するものに、自立した生活を送れるよう福祉サービスの利用援助を行うことであり、その者の権利擁護に資することを目的として実施した。

なお、平成２４年度から、静岡県社会福祉協議会より、日常生活自立支援事業業務の一部の委託を受け、相談受付や利用締結に関する事務、契約に基づく利用者に対する支援を実施した。

職員配置：専門員２名（兼務）、生活支援員８名

① 利用者数

区分	平成２５年度				平成２４年度			
	認知高齢	知的障害	精神障害	その他	認知高齢	知的障害	精神障害	その他
継続	4	5	0	3	4	5	0	2
新規	0	2	0	0	0	1	0	1
解約	0	1(1)	0	0	1	0	0	1
小計	4	8	0	3	5	6	0	4
合計	１５件				１５件			

② 相談援助件数（県社協規定による実績）

内容	本事業の利用に関するもの				その他	合計
対象者／事項	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他		
問合せ件数	2	1	0	2	0	5
初回相談件数	2	1	0	2		5
相談援助件数	１１３	２５８	0	５４		４２５
合計	１１７	２６０	0	５８	0	４３５

③ 生活保護世帯への支援回数　合計４２回

(3) 成年後見制度に関する相談、連絡調整

今後、成年後見が必要と思われる案件について、制度利用に結びつくよう対象者や関係者の相談に応じるとともに、地域包括支援センター等と連携し、申立が円滑に進むよう協力した。

(4) 生活福祉資金貸付事業

静岡県社会福祉協議会が実施主体となり低所得世帯に対する生活福祉資金の貸付を行う窓口として、長泉町における相談受付、償還事務を実施した。今年度は20件の相談受付をしたが、いずれも本事業の対象とならなかった。また、償還事務については、民生委員・児童委員協議会の協力を仰ぎ実施した。

なお、臨時特例つなぎ資金貸付制度の申請は無かった。

・相談件数　２０件　・貸付状況　０件

貸付状況	申込状況		決定状況		申込に対する決定率	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額
平成24年度	5	859,000	4	679,000	80.0%	79.1%

(5) 高齢者住宅整備資金貸付事業償還事務

静岡県老人クラブ連合会が、高齢者と同居する方が増改築する際に、高齢者の住環境の整備をするために必要な資金を貸し付ける制度。事業は平成１６年度をもって終了しているため償還事務を実施した。

・貸付制度利用者数　１件（平成２６年３月償還終了）

(6) 暮らしの相談「法律」

この専門相談は、法律専門家が広く法律に関する生活問題の相談に応じ、適切な助言や援助を行い、地域住民の福祉の増進を図ることを目的に平成18年7月から開始した。今年度も毎月第4火曜日に実施した。

・相談件数　平成２５年度　２３件（前年度３５件）

(7) ひとり暮らし高齢者食事会「仲良会」事業

町内在住の概ね６５歳以上の方を対象に、外出する機会の提供、交流の場となるよう、給食ボランティア３団体（萩の会、長泉ボランティア、民生委員・児童委員協議会）の協力のもと、食事会と３０分程度の催し物を行った。

① 参加者数

日　程	申込数	参加数	うち新規	ボランティア	来賓・出演者	職員	合計
4月25日	78	62	8	15	0	3	80
5月30日	84	64	4	15	8	3	90
6月20日	76	62	0	19	15	3	99
7月19日	77	62	1	15	1	3	81
9月25日	84	69	1	19	1	3	92
10月23日	82	67	1	13	1	3	84
11月26日	76	67	0	15	16	3	101
12月20日	70	69	1	11	7	3	90
1月29日	84	78	6	15	5	3	101
2月19日	71	68	2	21	39	3	131
3月28日	88	68	2	8	4	2	82
合　計	870	736	26	166	97	32	1,031

② 内　容

日　程	催　し　物	内　容
4月25日	防犯講座	職員による事故防止講座
5月30日	納米里ハーモニカクラブ	ハーモニカによる演奏と合唱
6月20日	マンドリン演奏と合唱	マンドリンによる演奏と合唱
7月19日	郷土の歴史	生涯学習課による講座
9月25日	運動の大切さ	健康増進課による体操と講座
10月23日	頭と体を使って楽しく交通講話	交通安全指導員による運動を取り入れた交通講話
11月26日	マンドリン演奏と合唱	マンドリンによる演奏と合唱
12月20日	みんなで楽しく、沖縄三線	三線演奏と合唱
1月29日	新春企画	萩の会による箏曲
2月19日	三島高校生との交流	高校生36名との交流
3月28日	介護になっても困らない	社協職員による劇

(8) 児童・母子（父子）援護活動の推進

① 新入学児童への祝い品の贈呈

児童の健全育成と交通安全を祈念する目的で、小学校新入学児童への交通安全帽子を入学時に贈呈した。（経費は平成２４年度分）

・贈呈日　　４月４日（木）

・該当者数　　男子２２４名　女子２３６名　合計４６０名

② ひとり親家庭社会参加事業

・開催日　８月１８日（日）

・開催地　竜ヶ岩洞（浜松市引佐区田畑 193）
浜松科学館（浜松市中区北寺島 256－3）

・参加者　２０名（大人８名、子供１２名）

(9) 福祉電話および福祉用具に関するサービス利用調整

① ひとり暮らし高齢者福祉電話設置事業

長泉町に居住するおおむね６５歳以上でひとり暮らし高齢者の方を対象に福祉電話を設置し、緊急時の通報体制の確立を図った。

ア 設置状況

	設置数	取り付け	取り外し
平成 25 年度	１１９	１０	９
前年度	１１８	１６	１５

※福祉電話取り外し理由：施設入所７名、家族同居１名、本人死亡１名。

イ 緊急時通報先別設置数

	消防指令センター	親族等	合　計
平成 25 年度	１１９	０	１１９
前年度	１１６	２	１１８

② 介護用品貸出事業

病院や施設からの一時外泊等、介護保険制度で非該当となる事例に対し介護者の負担軽減を図るため車椅子を貸し出した。また、学校等で福祉教育の教材として使用するために無料で車椅子を貸し出した。

・貸出期間　１ヶ月４８０円（３ヶ月を限度とする）

車椅子貸出状況

	個人向け貸出件数	教材等貸出件数
平成 25 年度	４２	１９
平成 24 年度	４０	１６

⑽　視覚障害者情報提供事業

目の不自由な方に対する公共的な情報の提供を行うため、ボランティアの協力を得て声の広報発行事業や点字による情報提供事業を実施した。

①　声の広報発行事業

『広報ながいずみ』　２４回発行
『議会だより』　４回発行
『福祉ながいずみ』　１２回発行

②　点訳の支援

点字による情報提供が円滑に推進されるよう、ボランティア活動を支援した。

4　福祉団体事業

1　事業概要

高齢者や戦没者遺族、障がい者等当事者及び家族、又は支援者によって結成された各福祉団体に対し、それぞれの目的達成に向けた活動が円滑に行われるよう、運営費の助成や連絡調整、コピー機等の無償提供、福祉会館等貸室利用料の免除、研修や行事等のマイクロバス運行などの支援を行った。

また、団体事務局の設置が必要な団体には担当職員を配置し、行事企画運営や参加者取りまとめ等、会務運営の支援を行った。

2　事業内容

⑴　福祉団体助成金交付事務
⑵　団体事務局の運営（いきいきクラブ長泉、遺族会、手をつなぐ育成会）
⑶　団体会員及び上部団体等との連絡調整

3　団体支援状況

⑴　事務局設置団体

①　いきいきクラブ長泉

健康・友愛・奉仕活動を通じての仲間づくり、健康づくりなど生活を豊かにする楽しい活動、地域を豊かにする社会活動を推進するため福祉会館に事務局を設置し下記の活動支援を行った。

ⅰ　会務運営支援

・総会（4月29日）126名参加
・三役会（毎月）
・理事・女性部長合同会議（毎月）
・プラスワン委員会（適宜）
・上部団体及び単位クラブ連絡調整

ⅱ　健康活動・文化活動事業支援

・第36回グラウンドゴルフ大会（5月23日）414名参加
・第21回輪投げ大会（6月30日）495名参加
・ながいずみクリーンアップ作戦（9月15日～21日）439名参加
・第39回スポーツ大会（9月16日）639名参加
・第37回グラウンドゴルフ大会（10月24日）429名参加
・健康ウォーキング事業（各クラブで実施）
・グラウンドゴルフ同好会・ながいずみ音頭サークル・フラダンスサークル・健康マージャンサークル・頭の体操教室活動支援等
・いきいき気功教室の設立（平成25年7月）
・健康美体操クラブの設立（平成25年9月）
・第1回健康マージャン大会の開催（2月21日）16名参加

iii　友愛活動その他の活動支援

・ シルバーリーダー研修会、友愛交流会（簡易リンパマッサージ教室）、交流研修会（交通安全教室）の開催

・広報紙「いきいきクラブ長泉だより」の編集発行（8月号・1月号）

・「いきいきクラブ長泉」愛称変更の検討

②　長泉町遺族会

i　会務運営

・上部団体等との連絡調整

・文書受付及び取り次ぎ等

ii　団体活動

・総会（4月13日）資料作成補助

・年会費等徴収事務

・役員・支部長会議等案内

・護国神社・靖国神社参拝、万灯祭等の参加者取りまとめ

③　長泉町手をつなぐ育成会

i　会務運営

・総会（5月17日）

・上部団体及び駿東郡各町育成会との連絡調整

・文書受付及び取り次ぎ等

ii　団体活動

・行事案内、参加者取りまとめ

・行事支援（当日同行）

・行事支援者の調整

(2)　運営費助成団体一覧

（単位：円）

	団体名	助成額	備　考
1	いきいきクラブ長泉	750,000	事務局支援
2	長泉町遺族会	720,000	事務局支援
3	長泉町身体障害者福祉会	650,000	
4	長泉町手をつなぐ育成会	300,000	事務局支援
5	長泉町母子寡婦福祉会	270,000	
6	長泉精神保健福祉きせがわ会	100,000	
7	沼津地区更生保護女性会長泉支部	50,000	
8	ながいずみ断酒会	20,000	
合　計		2,860,000	

5　共同募金配分金事業

(1)　一般募金・歳末たすけあい募金剰余金による事業

昨年度寄せられた共同募金及び歳末たすけあい募金の助成金により、福祉育成援助活動費として４事業、老人福祉活動費として３事業を実施した。

①　共募助成金事業内訳

項目			期日	内容	助成額
1　福祉育成援助活動費					2,798,680円
	1	福祉教育実践校事業　※1	通年事業	指定校助成金	300,000円
	2	福祉健康まつり開催事業　※2	１０月２０日（日）	広報費・業務委託費等	1,813,680円
	3	小地域福祉活動推進事業　※3	通年事業	活動区助成金	400,000円
	4	車椅子購入事業	３月２７日（金）	車椅子貸出事業	285,000円
2　老人福祉活動費					771,417円
	1	ひとり暮らし高齢者食事会「仲良会」	年11回開催	給食費9回分等	537,566円
	2	いきいきクラブスポーツ大会	9月22日(日)	参加賞	134,400円
	3	高齢者将棋・囲碁大会	将棋大会２月７日 囲碁大会２月14日	賞状・景品代	99,451円
助成金総額					3,570,097円

②　費用按分事業内訳

項目		経理区分１（共募配分金）	経理区分２（費用按分）	総事業費（１＋２）
1	福祉教育実践校事業　※1	300,000円	地域福祉活動 300,000円	600,000円
2	福祉健康まつり開催事業　※2	1,813,680円	地域福祉活動 1,052,844円	2,866,524円
3	小地域福祉活動推進事業　※3	400,000円	850,000円	1,250,000円

(2) 歳末たすけあい募金助成事業

「地域でささえあうあったかい正月」をスローガンに、町内在宅者に対しては民生委員を通じて、施設入所者に対しては本会理事、町福祉保険課の協力を得て配分金をお届けした。

項目			基準	対象	助成額
1	高齢者への贈呈事業				495,000円
	1	低所得の高齢者世帯	5,000円／世帯	2世帯	10,000円
	2	低所得の一人暮らし高齢者	5,000円／世帯	79世帯	395,000円
	3	寝たきり高齢者	6,000円／世帯	14世帯	84,000円
	4	養護老人ホーム入所者	3,000円／人	2名	6,000円
2	障害児・者への贈呈事業				272,000円
	1	身障手帳1～3級又は療育手帳A・Bで低所得	5,000円／世帯	28世帯	140,000円
	2	身体障害者療護施設等、施設入所者	3,000円／人	44名	132,000円
3	児童・青少年への贈呈事業				143,000円
	1	母子・父子世帯で低所得	5,000円／世帯	19世帯	95,000円
	2	児童養護施設等入所児童	3,000円／人	16名	48,000円
4	住民全般への贈呈事業				940,166円
	1	準生活保護世帯	6,000円／世帯＋4,000円／人	54世帯 149名	920,000円
	2	長期療養患者（6ヶ月以上）	3,000円／人	2名	6,000円
	3	歳末たすけあい助成事務諸経費			14,166円
5	地域福祉・在宅サービス事業費				50,000円
	1	町手をつなぐ育成会餅つき・クリスマス会			50,000円
助成金総額					1,900,166円

6　福祉会館事業

1　事業目的

福祉会館は老人福祉センター、児童館、地域福祉センターの機能を持った複合施設として、住民の健康と福祉の増進並びに住民相互の交流を図ることを目的に設置された。主として、各種の相談、機能回復訓練、文化教養の向上及び児童の健全育成の場として活用され、健康で助けあう生きがいのある町づくりの拠点となるべく事業を実施した。

2　管理業務の委託状況

(1)　清掃・環境衛生業務

・日常清掃（毎日、火曜日・年末年始を除く）

・定期清掃　床清掃（２ヶ月／回）　浴室天井壁面清掃（年４回）

・窓ガラス清掃（年４回）

・衛生管理　害虫防除（年２回）　空気環境測定（年６回）

(2)　管理員派遣業務(毎日)　シルバー人材センターからの管理員派遣

(3)　エレベータ点検（月１回）　エレベータ機器の保守点検

※建築基準法に基づく法定点検報告を含む

(4)　夜間警備業務（毎日）　夜間の機械警備業務

(5)　浴槽設備点検（年１回）　各浴槽、ろ過機等の点検

(6)　給水設備点検（隔月１回）　給水設備（貯水槽、給水ポンプ）の保守点検、飲料水検査、貯水槽清掃

(7)　浴槽水水質検査　レジオネラ属菌検査（普通浴槽：年２回、気泡風呂：２ヶ月／回）一般項目検査（年２回）

(8)　電気保安業務（隔月１回）　機械室内変圧器等、変電・発電設備点検

(9)　トイレ消臭機器保守（隔月１回）大広間前トイレ消臭機器保守管理

(10)　ボイラー設備点検（年２回）　昇温・給湯ボイラー機器の保守点検

(11)　消防設備点検（年２回）　自動火災報知設備・屋内消化栓・誘導等及び誘導標識・非常放送設備・消火器の点検

(12)　自動ドア点検（年２回）　機器の保守点検

(13)　濾過系統配管消毒業務（週１回）　ﾚｼﾞｵﾈﾗ菌防止対策のため配管の高濃度塩素消毒

(14)　貯湯槽清掃消毒業務（年１回）　ﾚｼﾞｵﾈﾗ菌防止対策のため貯湯槽の清掃、塩素消毒

(15)　特殊建築物・建設設備定期報告（年１回）　建築基準法第 12 条第３項による定期報告書作成業務

(16)　地下タンク貯蔵所漏洩検査（年１回）・重油用地下タンク及び接続配管の微加圧検査

(17)　防火対象物点検（年１回）防火管理上必要な業務等の点検・報告

3　施設利用状況（平成２５年４月１日～平成２６年３月３１日）

(1)　長泉町福祉会館利用状況

（単位：人）

月	開館日数	会議室			浴室・大広間								合計 (1)＋(2)	一日平均	健康相談
		有料	無料	小計 (1)	有料				無料			小計(2)			
					大人一般	高齢者障害者	短時間	小人	いきいきクラブ	大人	その他				
4月	26	429	1,145	1,574	293	212	921	47	265	72	484	2,294	3,868	149	592
5月	28	526	1,515	2,041	321	203	1,200	44	226	70	424	2,488	4,529	162	635
6月	26	564	1,461	2,025	317	292	1,133	58	165	62	3	2,030	4,055	156	534
7月	27	616	1,469	2,085	325	286	1,048	33	242	65	0	1,999	4,084	151	540
8月	27	328	1,083	1,411	359	220	1,589	70	230	0	452	2,920	4,331	160	493
9月	27	438	1,207	1,645	237	229	1,662	96	223	48	534	3,029	4,674	173	559
10月	26	338	5,355	5,693	266	262	1,312	39	161	67	0	2,107	7,800	300	455
11月	27	369	1,483	1,852	295	310	1,503	56	214	67	0	2,445	4,297	159	530
12月	24	273	1,113	1,386	242	254	1,541	51	179	69	0	2,336	3,722	155	421
1月	24	333	1,180	1,513	262	272	1,607	49	207	80	0	2,477	3,990	166	449
2月	24	491	1,369	1,860	289	285	1,754	37	222	68	0	2,655	4,515	188	491
3月	26	550	1,619	2,169	261	309	1,727	66	165	68	0	2,596	4,765	183	468
合計	312	5,255	19,999	25,254	3,467	3,134	16,997	646	2,499	736	1,897	29,376	54,630	175	6,167
24年度	311	6,431	21,852	28,283	2,956	2,607	7,777	340	2,069	648	0	16,397	44,680	144	5,852
増減	1	-1,176	-1,853	-3,029	511	527	9,220	306	430	88	1,897	12,979	9,950	31	315

※4月から手前浴室をリニューアルオープンし、浴室利用無料券を全世帯配布したため利用者が増加している。また、8月～9月期に浴室・大広間の営業時間を20時30分まで延長し、併せて浴室利用優待券を全世帯配布したため夜間営業の利用者（特に短時間利用者）が増加している。また、1月から3月の短時間利用者数は8月～9月期の夜間営業時以上であった。

※会議室等の利用は、浴室利用者の増加に反してウェルピアながいずみ開設の影響により利用者は減少している。

(2) 浴室、会議室等使用料収入 （単位：円）

月	券売機	回数券	小計	会議室	公衆電話	合　計	24年度	増減
4月	296,700	96,000	392,700	52,800	750	446,250	360,970	85,280
5月	353,600	94,000	447,600	33,600	840	482,040	358,500	123,540
6月	341,700	116,000	457,700	50,900	550	509,150	386,810	122,340
7月	329,900	105,000	434,900	25,800	720	461,420	370,810	90,610
8月	465,000	139,000	604,000	29,300	430	633,730	376,540	257,190
9月	470,400	92,000	562,400	33,900	760	597,060	413,280	183,780
10月	354,500	103,000	457,500	27,800	630	485,930	324,400	161,530
11月	391,300	134,000	525,300	33,500	550	559,350	399,360	159,990
12月	390,800	90,000	480,800	31,700	500	513,000	316,580	196,420
1月	413,500	120,000	533,500	35,600	510	569,610	318,360	251,250
2月	477,600	115,000	592,600	35,100	520	628,220	333,960	294,260
3月	450,900	101,000	551,900	46,600	800	599,300	354,820	244,480
合計	4,735,900	1,305,000	6,040,900	436,600	7,560	6,485,060	4,314,390	2,170,670

(3) 健康器具利用料収入 （単位：円）

月	カラオケ	セレブレックス	マッサージ	合計	24年度	増減
4月	151,800	34,900	29,100	215,800	157,700	58,100
5月	163,200	41,700	39,200	244,100	167,700	76,400
6月	152,000	36,400	28,000	216,400	163,000	53,400
7月	146,300	38,000	30,600	214,900	176,100	38,800
8月	158,000	35,400	42,200	235,600	174,000	61,600
9月	147,300	29,000	44,600	220,900	182,900	38,000
10月	136,000	31,300	37,700	205,000	155,500	49,500
11月	138,000	37,400	30,300	205,700	152,900	52,800
12月	117,000	35,000	31,000	183,000	135,300	47,700
1月	128,100	40,000	27,500	195,600	144,100	51,500

2月	138,500	40,600	26,700	205,800	171,300	34,500
3月	159,500	40,900	27,300	227,700	175,300	52,400
合計	1,735,700	440,600	394,200	2,570,500	1,955,800	614,700

4　水道光熱費・燃料費支出　　（単位：円）

月	水道光熱費					燃料費	合　計	24年度	増減
	電　気	LPガス	炭酸ガス	水　道	計	灯油 A重油			
4月	618,492	32,024	75,600		726,116	573,300	1,299,416	1,060,137	239,279
5月	391,581	44,719	66,150	398,360	900,810	567,000	1,467,810	1,404,821	62,989
6月	405,921	52,038	56,700		514,659	378,000	892,659	788,587	104,072
7月	527,856	48,132	75,600	427,570	1,079,158	567,000	1,646,158	1,259,527	386,631
8月	592,634	52,374	85,050		730,058	394,800	1,124,858	928,897	195,961
9月	528,532	64,890	94,500	472,280	1,160,202	394,800	1,555,002	1,350,220	204,782
10月	417,028	68,754	47,250		533,032	598,500	1,131,532	745,533	385,999
11月	415,036	51,681	75,600	520,170	1,062,487	604,800	1,667,287	1,388,426	278,861
12月	443,251	53,476	56,700		553,427	814,800	1,368,227	1,054,964	313,263
1月	462,553	53,843	66,150	498,480	1,081,026	623,700	1,704,726	1,213,808	490,918
2月	463,415	54,705	56,700		574,820	623,700	1,198,520	1,141,553	56,967
3月	460,861	53,277	66,150	519,820	1,100,108	831,600	1,931,708	1,206,879	724,829
合計	5,727,160	629,913	822,150	2,836,680	10,015,903	6,972,000	16,987,903	13,543,352	3,444,551

※4月の電気代は電気事業者変更（東京電力㈱⇒日本ロジテック協同組合）のため、精算期間変更による増額となっている。

※昨年度11月～3月まで手前浴室を改修工事により休止したこと、8月～9月期に夜間営業を実施したことにより水道光熱費、燃料費とも前年度と比較し増加している。燃料費は4月から3月までの間に1ℓ単価9円増も影響している。

5　水道光熱及び燃料使用量

使用量 ＼ 月	水道光熱費		燃料費
	電　気 （単位：kwh）	上下水道 （単位：㎥）	A重油 （単位：L）
4月	27,031	0	6,000

5月	16,932	1,745	6,000
6月	17,246	0	4,000
7月	23,094	1,873	6,000
8月	26,640	0	4,000
9月	22,769	2,084	4,000
10月	17,236	0	6,000
11月	17,320	2,273	6,000
12月	19,296	0	8,000
1月	20,717	2,173	6,000
2月	20,732	0	6,000
3月	20,184	2,266	8,000
H25合計	249,197	12,414	70,000
H24合計	222,206	9,778	58,000
増　減	26,991	2,636	12,000

5　修繕等実施状況（10万円以上）　　（単位：円）

No.	項　　目	金　額	内　　容
1	大広間等網戸設置工事	125,475	自然風を活用した節電を図るため大広間等の窓に網戸を設置した。
2	駐車場ポール移設改修工事	191,100	長泉・清水循環バスの停留所を会館玄関前に設けるため駐車場の施錠用ポールを移設した。
3	人工炭酸泉タイル目地補修工事	476,700	人工炭酸泉浴槽タイル目地劣化のため耐酸目地で補修
4	自動扉開閉装置交換工事	499,800	自動開閉装置老朽劣化のため交換
5	ガス貯蔵式湯沸器取替工事	441,000	従来給湯器の老朽化、特殊建築物検査で不適格のため取替
6	3階和室（生活相談室・健康相談室・娯楽室）壁面改修工事	735,000	既存砂壁老朽化のため改修工事

7	非常灯不点灯ﾊﾞｯﾃﾘｰ交換工事	549,150	特殊建築物検査において不適格のため館内非常灯の不点灯バッテリー交換工事
8	昇温ポンプ交換工事	207,900	昇温ボイラー用ポンプ老朽化による漏水のため交換工事

6　安全対策

(1)　福祉会館入場者傷害保険

施設利用者を対象とした傷害保険に加入。

①　１名あたりの担保内容、年間保険料

種　別	補償額	備　　考
死亡・後遺障害	５００万円	会館利用者を対象とする。
入院日額	３，０００円	事故の日から180日を限度とする。
通院日額	２，０００円	事故の日から180日の間のうち、90日の通院を限度とする。

②　保険内容

ア　入院、通院を合わせて180日をもって限度とする。

イ　来場者が福祉会館へ入場してから退出するまでの傷害事故が対象となる。

ウ　来場者の往復途上、職員等の労災事故、天災（地震、噴火、津波）は保険の対象外とする。

(2)　防災訓練の実施

①　危険物安全週間における訓練

実　施　日：６月１７日（月）

訓練参加者：９名（福祉会館シルバー管理人）

訓練内容　：福祉会館事務室警報盤の確認、避難誘導経路・消火器・消火栓確認、水消火器訓練。

②　救急訓練・通報訓練

実　施　日：８月５日（月）・７日（水）

訓練参加者：１４名（福祉会館シルバー管理人、健康相談員）

訓 練 内 容：浴室・大広間の夜間営業に合わせて、消防署の協力により浴室事故を想定したAED使用方法と消防署への通報訓練を実施した。

③　地震防災訓練

実　施　日：８月２５日（日）

訓練参加者：職員９名（福祉会館事務局職員）
訓練内容　：地震発生後の利用者の避難誘導、消火栓取扱訓練他

⑶　日常点検　管理担当職員を中心とした館内の日常点検を実施した。

⑷　消防署査察
実　施　日：平成２５年１１月１８日
防火対象物等：福祉会館・ボランティアルーム
消防法令違反等不備事項の内容：指示事項なし

７　その他
⑴　福祉会館浴室リニューアルオープンに合わせた無料開放と無料招待券の発行について
平成２５年４月２日の福祉会館浴室リニューアルオープンにむけて４月２日・３日に浴室・大広間を無料開放した。また、４月４日から５月３１日まで利用できる無料招待券を町内全世帯に発行した。

月　日	無　料	いきいきクラブ	合　計
4月2日	119	62	181
4月3日	143	0	143
合　計	262	62	324

期　間	有　料	無料券	合　計
4月4日～4月30日	1,473	160	1,633
5月1日～5月31日	1,768	424	2,192
合　計	3,241	584	3,825

⑵－１　浴槽設備異常による一時営業休止について
①　日　　時　５月２１日（火）午前７時５０分
②　営業停止時刻　１０時００分～１２時００分（２時間）
③　原　　因　電気設備点検時の停電後に熱源ポンプの復旧をしていない。
④　復旧時刻　１２時００分
⑤　利用者対応　午前中に利用できなかった利用者には、丁重にお詫びするとともにリニューアルオープン記念浴室利用招待券（無料券）を配布した。
⑥　改 善 策　浴場設備点検日誌に熱源ポンプの確認項目を追加し、毎日、営業開始前と営業終了後に確認することとした。また、シルバー管理人に停電等の異常事態に対する研修会を開催した。

⑵－２　浴室・大広間の営業時間の延長について
８月１日からオープンする健康づくりセンターと一体的な利用を促進し、利用者の健康増進を図るための営業時間の延長について町と協議し、

承認された。

① 期　　間　８月１日（木）から平成２５年９月３０日（月）
　　２月間（月曜日を除く、但し月曜日が祝日等の場は実施）

② 延長時間　１７時００分から２０時３０分（３時間３０分）

③ 利用結果

月	営業日	有　料	優待券	合　計	１日 平均利用者
８月	27 日	523	210	733	27 人
９月	27 日	660	170	830	31 人
合　計	54 日	1,183	380	1,563	29 人

（単位：人）

時間帯内訳	8月	9月	合　計
16:30～17:00	105	119	224
17:00～17:30	121	103	224
17:30～18:00	103	110	213
18:00～18:30	143	149	292
18:30～19:00	109	167	276
19:00～19:30	152	182	334
合　計	733	830	1,563

売上内訳	大人券 500 円	高齢者 障害者 300 円	子供 100 円	短時間 200 円	優待券 （大人） 100 円	優待券 （子供） 無料	合計
8月利用人数	1	4	34	484	165	45	733
8月売上	500	1,200	3,400	96,800	16,500	0	118,400
9月利用人数	1	4	64	591	113	57	830
9月売上	500	1,200	6,400	118,200	11,300	0	137,600
8月～9月利用合計	2	8	98	1,075	278	102	1,563
売上合計	1,000	2,400	9,800	215,000	27,800	0	256,000

(3) 県民の日（８月２１日）にかかる施設の無料開放について

県民の日に合わせて施設を無料開放し、県の広報を通じて町内外に広く施設 PR を行い、利用促進を図ることについて町と協議し、承認された。

日時	無　料	いきいきクラブ	合　計
8月21日	136 夜間(42)	24	160

(4) レジオネラ属菌対策

レジオネラ症防止対策のための条例に従い、レジオネラ属菌対策を実施した。

① 気泡発生装置と濾過器を使用した循環式浴槽（５浴槽）は年２回の水質検査と２ヶ月に１回のレジオネラ菌検査を実施した。
② 気泡発生装置を有する浴槽の濾過器・集毛器を洗浄・消毒した。（毎日）
③ 浴槽濾過系統配管を高濃度塩素による洗浄・消毒した。（週１回）
④ 貯湯槽を清掃・消毒した。（年１回）
⑤ レジオネラ菌の検出による浴槽の休止（９月１０日浴槽水採取分）
９月２５日　レジオネラ菌の検出報告　10/100cfu検出
９月２６日　人工炭酸泉（E浴槽）浴槽の清掃・消毒の実施
９月２６日　浴槽水再検査（E浴槽）
９月３０日　東部保健所に報告
１０月　１日　東部保健所から人工炭酸泉（E浴槽）停止の指導
１０月　７日　過酸化水素による浴槽の配管消毒
１０月　８日　東部保健所に再検査結果の報告
東部保健所から停止浴槽の再開について許可
※１０月１日から１０月７日まで人工炭酸泉（E浴槽）の営業を停止した。

(5) ボランティア
近隣住民や有志の方々の協力により、福祉会館敷地内外の環境整備を図ることができた。

No.	活動内容	回数
①	スリッパ清掃	毎月１回
②	年末障子貼り	毎年１回
③	草刈り・植木剪定・周辺清掃	随時
④	絵手紙展示	随時
⑤	折紙展示	毎月１回

(6) 施設見学受入
① ４月２日（火）
長泉町新規採用職員　９名
② ６月１２日（水）
富士吉田市役所　６名
③ ３月１０日（月）
長泉町立北小学校３年生　１４４名（５学級）担任他６名

(7) 順天堂大学保健看護学部実習受入
高齢者との関わりを通じて高齢者の加齢に伴う身体の変化とその生活を知り、健やかな老いについて考察する実習のため看護学生を受け入れた。

No.	日付	午前 9:45～12:00	午後 13:00～15:30		人数
1	9月3日(火)	頭の体操教室 4階会議室	利用者交流	まとめ	7名
2	9月4日(水)	華道サークル 2階研修室			6名
3	9月5日(木)	フラダンスサークル 2階研修室			7名
4	9月18日(水)	華道サークル 2階研修室			7名
5	9月19日(木)	フラダンスサークル 2階研修室			7名
6	9月20日(金)	身障福祉会なごみの会 3階娯楽室			7名
合　計					41名

(8) 高齢者援護活動の推進

① ふれあい推進事業の充実

福祉会館利用者の交流促進のため、ふれあい推進事業の効率的な運営に努めた。

事業内容	内　容
カラオケ	1日　50曲程度
舞　踊	随時
囲碁将棋、卓球	用具の貸し出し（随　時）

② 高齢者趣味サークルへの支援

高齢者の健康の増進と交流による仲間づくりを促進するため、囲碁、将棋、華道、茶道、ダンスの各サークルへの支援を行った。

・趣味サークル活動に対する会場提供及び事務的支援

③ 福祉会館利用高齢者に対する送迎の実施

高齢者相互の交流と健康の維持・増進を図り、福祉会館の利用を促進するため、町内の単位老人クラブを対象としたマイクロバスによる送迎を行った。

・マイクロバス利用単位クラブ

２６クラブ中２０クラブ／月１～２回

(9) 浴室リニューアルオープン後アンケートの実施

浴室リニューアルオープン無料招待券の利用者を対象としてアンケートを実施した。（１６５部回収）

浴室リニューアルオープン後、浴室・大広間を再度利用している方は「毎日」「週1～3回」「月1～3回」の合計頻度が60%以上を占めリピート率が高い。人工炭酸泉の感想は「大変良い」と「良い」と答えた方は70%以上で好評、ミストサウナは40%以上とまずまずの評価だった。

7　手話通訳者派遣事業

1　事業目的

聴覚障害者及び音声又は言語機能障害者(以下「聴覚障害者等」という。)並びに聴覚障害者等と意志の疎通を図る必要のある者が手話通訳を必要とする場合に手話通訳者を派遣し、意思伝達の手段を確保することにより、聴覚障害者等の福祉の増進及び社会参加の促進に資することを目的とする。

2　事業内容

(1)　運営状況

①　登録手話通訳者　7名（町内2名、広域登録5名）

②　手話通訳等報酬　1時間 2,080 円　交通費 1km あたり 40 円支給

3　手話通訳者派遣事業実績

月	件数	通訳者派遣数							項目別件数								
		派遣時間		登録者数		派遣場所		手話登録者派遣時間合計									
		昼	夜	町内	町外	町内	町外		生命健康	官公署	職業	教育	教養自己	住居	地域生活	団体活動	その他
		件数	件数	人数	人数	件数	件数	時間	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数
4月	15	11	4	21	0	14	1	44:00	4	0	0	1	0	0	2	8	0
5月	13	11	2	18	5	10	3	45:05	4	0	1	1	0	0	1	6	0
6月	15	11	4	18	1	7	8	30:25	5	0	2	2	0	0	1	5	0
7月	16	11	5	20	2	11	5	43:25	3	0	0	2	0	1	3	7	0
8月	16	8	8	26	0	13	3	49:35	1	1	0	0	1	0	4	9	0
9月	11	9	2	13	3	5	6	29:55	4	0	2	0	0	0	2	3	0
10月	10	6	4	14	4	7	3	38:20	2	0	0	0	0	0	2	6	0
11月	20	17	3	22	3	12	8	47:10	6	2	0	0	1	0	4	7	0
12月	12	12	0	17	0	6	6	50:45	4	0	0	0	0	0	1	7	0
1月	15	13	2	12	5	9	6	28:20	6	0	2	0	0	0	3	4	0
2月	10	9	1	11	5	5	5	30:15	5	0	0	0	0	0	1	4	0
3月	13	10	3	12	4	5	8	34:55	4	0	1	0	0	0	3	5	0
H25合計	166	128	38	204	32	104	62	472:10	48	3	8	6	2	1	27	71	0
H24合計	148	128	20	181	24	91	57	454:15	38	9	9	8	1	5	9	69	0

8　居宅介護支援事業

1　事業概要

要支援又は要介護状態と認定された利用者に介護サービスが適切かつ効果的に提供されるよう利用者及びご家族からの依頼を受けて、心身の状況、置かれている環境、希望等を考慮して居宅サービス計画を作成し、居宅サービスの提供が確保されるよう、居宅サービス事業所等の連絡調整、並びに居宅サービスの給付管理を実施した。

2　事業内容

(1)　要介護認定等の申請代行

(2)　居宅サービス計画の作成、計画後の管理

(3)　サービス事業者との連絡調整

3　利用状況

(1)　居宅サービス計画作成件数

	居宅介護支援						介護予防支援			居宅総支援件数①+②
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	居宅介護支援件数①	要支援1	要支援2	介護予防支援件数②	
4月	29	35	24	14	10	112	3	15	18	130
5月	27	37	24	13	10	111	3	16	19	130
6月	25	38	24	11	10	108	2	18	20	128
7月	25	39	20	13	9	106	2	18	20	126
8月	24	37	21	12	11	105	2	17	19	124
9月	24	35	21	12	11	103	2	20	22	125
10月	23	36	21	13	11	104	3	20	23	127
11月	23	34	21	12	11	101	3	19	22	123
12月	22	35	21	11	9	98	5	21	26	124
1月	23	34	19	12	9	97	5	21	26	123
2月	24	35	20	12	10	101	9	20	29	130
3月	25	35	20	13	11	104	10	19	29	133
H25合計	294	430	256	148	122	1,250	49	224	273	1,523
H24合計	342	378	262	190	131	1,303	34	164	198	1,501
増減	△48	52	△6	△42	△9	△53	15	60	75	22

(2) 加算の状況

	加　　算							
	初回	退院退所	入院Ⅰ	入院Ⅱ	認知	独居	緊急	特事Ⅱ
4月	3	0	0	0	33	13	0	111
5月	1	0	0	0	33	13	0	110
6月	0	0	1	0	31	14	0	107
7月	1	0	0	0	30	15	0	106
8月	3	1	2	0	30	15	0	105
9月	1	0	0	0	29	15	0	103
10月	4	0	1	0	29	13	0	104
11月	2	0	0	0	28	11	0	101
12月	2	0	0	0	27	11	0	98
1月	2	2	1	0	27	12	0	97
2月	4	1	2	0	32	12	0	101
3月	7	0	0	0	32	11	0	104
H25合計	30	4	7	0	361	155	0	1,247
H24合計	54	6	5	0	362	150	1	1,303
増　減	△24	△2	2	0	△1	5	△1	△56

【加算内容】

・初　回　加　算：新規及び要介護2段階以上の変更が生じた場合の加算
(300単位／月)

・退院退所加算：退院・退所に当たって、病院等の職員と面談を行い、利用者に関する必要な情報提供やそのほかの連携を行った場合。
(300単位／回) …入院期間中3回まで算定可能。

・入院時連携加算Ⅰ：病院・診療所に訪問し、当該病院・診療所の職員に対して必要な情報提供を行った場合。
(200単位／月)

・入院時連携加算Ⅱ：病院・診療所に訪問する以外の方法により、当該病院・診療所の職員に対して必要な情報提供を行った場合。
(100単位／月)

・認知症加算：認知症高齢者の日常生活自立度において医師の認定調査票において評価が3以上の認知症高齢者支援に対する加算
(150単位／月)

・独居高齢加算：独居高齢者を対象にした支援の加算 (150単位／月)

・緊急ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ加算：当該病院・診療所の職員と共に居宅を訪問しサービス調整を行った場合。 (150単位／月)

・特定事業所加算Ⅱ：要介護者のみを対象とし事業所の介護支援専門員が3名体制等の条件を満たされている場合の加算 (300単位／月)

9　指定通所介護事業

1　事業概要

利用者の心身の特性を踏まえて、利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、さらに利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びにその家族の身体的、精神的負担の軽減を図るために、必要な日常生活上の世話及び機能訓練等の介護、その他必要な援助を行った。

・定員　通所介護、介護予防通所介護（合算）　35 人/日
　月曜日～土曜日　実施

・定員　認知症対応型通所介護、介護予防認知症対応型通所介護（合算）　12 人/日
　月曜日～土曜日　実施

2　事業内容

(1)　生活指導
(2)　日常生活動作訓練
(3)　介護サービス
(4)　送迎サービス
(5)　健康状態の確認
(6)　給食サービス
(7)　入浴サービス
(8)　介護方法の指導
(9)　個別機能訓練

3　利用状況

(1)　指定通所介護、介護予防通所介護（一体的に実施）

	開所日数	登録者数		利用延人数		主な行事等
		通介	予通	通介	予通	
4 月	26	39	9	428	47	いちご狩り
5 月	27	39	9	424	58	沖縄三味線演奏会
6 月	25	40	9	375	66	大正琴演奏会
7 月	27	41	9	393	75	七夕、納涼祭
8 月	27	40	9	381	70	スイカ割り
9 月	25	39	8	360	60	敬朗会（幼稚園児交流）、ふれあい交流
10 月	27	38	10	379	71	長泉小学校交流会
11 月	26	36	8	370	58	三島楽寿園（菊華展）散策
12 月	24	36	8	349	57	クリスマス会
1 月	24	35	8	357	59	初詣（三嶋大社）
2 月	24	36	8	373	53	節分、おやつ作り
3 月	26	36	7	411	53	ひな祭り会
H25 合計	308	455	102	4, 600	727	
H24 合計	307	488	89	4, 847	547	
増減	1	△33	13	△247	180	

(2) 指定認知症対応型通所介護、指定介護予防認知症対応型通所介護（一体的に実施）

	開所日数	登録者数	利用延人数	主な行事等
4　月	26	18	185	いちご狩り
5　月	27	18	181	奉仕活動（いずみの郷周辺の草むしり）、園芸
6　月	25	18	157	大正琴演奏会
7　月	27	18	170	七夕、納涼祭、
8　月	27	18	158	スイカ割り
9　月	25	18	157	敬朗会（幼稚園児交流）、ふれあい交流
10　月	27	19	164	長泉小学校交流会
11　月	26	16	156	三島楽寿園（菊華展）散策
12　月	24	13	133	クリスマス会
1　月	24	13	123	初詣（三嶋大社）
2　月	24	13	124	節分、おやつ作り
3　月	26	13	124	ひな祭り会
H25 合計	308	195	1,832	
H24 合計	307	222	2,116	
増減	1	△27	△284	

※指定介護予防認知症対応型通所介護は利用実績なし

4　平成２５年度の取り組み

・季節感のある居室装飾（新緑、ブドウ棚　※、ハロウィン、紅葉、桜）
・染物
・沖縄三味線演奏会
・園芸活動（トマト・さつま芋・ゴーヤ・オクラ）
・メイクアップ

特に、認知症対応型通所介護事業は認知症予防や進行の遅延を目的とした学習療法、園芸療法、ドールセラピー、回想法などの各セラピーを充実させた。また、コミュニケーションもしくは非言語コミュニケーションによる交流、爽快感、開放感、安心感、季節感、等五感に訴えかける内容などに配慮した居室の装飾を施し、「昔とった杵柄」を再現する懐古プログラムによって利用者様の感情に問いかける手法を心がけた。

5　ボランティアの協力

(1)　各種プログラム活動

内容・団体名等	活動頻度
フラワーアレンジメント	偶　数　月
茶道の日	奇　数　月
喫茶サービス	奇　数　月
お話広場（読み聞かせ）	毎　　月
大正琴鑑賞	毎　　月
ハーモニカ演奏会鑑賞	毎　　月
健康体操・マッサージボランティア	毎　　月
メイクアップ	不　定　期

(2)　活動支援ボランティア受入状況

	給食ボランティア		行事・日常生活支援	合　　計
	団　　体	個　　人		
4月	45	12	59	116
5月	52	20	60	132
6月	58	25	54	137
7月	54	22	57	133
8月	53	20	55	128
9月	53	21	52	126
10月	39	24	41	104
11月	40	21	47	108
12月	37	23	53	113
1月	23	32	53	108
2月	32	32	46	110
3月	23	36	49	108
H25合計	509	288	626	1,423
H24合計	338	477	512	1,327
差　異	171	△189	114	96

※活動支援ボランティア団体名

愛護の会、ヴァイオリンクラブ Sound Garden、木苺の会、きさらぎの会、傾聴ボランティアふらっと、厚生年金受給者協会、こどもの本とお話の会、さくらの会、四六会、散髪ボランティア、大正琴倶楽部、萩の会、フラダンスの会、長泉ボランティア、虹の会、長泉町女性会、中土狩セミナー、本宿ハーモニカクラブ、マッサージボランティア、まゆの会、みのり会、みちの会、民児協地域福祉部会、ホーム喫茶ボランティア

6　福祉教育、介護、看護実習受け入れ状況

地域活動支援センター事業と合同で年中行事、福祉教育実践、介護・看護実習生の受入を行った。

(1)　体験学習

受入期間	体験学習依頼団体	内　　容	人　数
7月10日	長泉小学校	ふれあい交流　事前施設見学	62
7月16日	長泉小学校	ふれあい交流　事前施設見学	95
8月7日～8月9日	長泉北中学校	体験学習	3
8月14日～8月16日	長泉中学校	体験学習	2
8月19日～8月21日	長泉北中学校	体験学習	2
9月24日	長泉小学校	ふれあい交流※	31
10月8日	長泉小学校	ふれあい交流※	31
10月10日	長泉小学校	ふれあい交流※	32
10月15日	長泉小学校	ふれあい交流※	31
10月17日	長泉小学校	ふれあい交流※	32
10月30日	長泉中学校	ふれあい交流※	33
H　25　合　計			354名
H　24　合　計			349名
増　　減			5名

※ゲーム、小学生創作レクリエーション、演奏会

(2)　実習生受け入れ

受入期間	体験学習依頼団体	内　　容	人　数
6月10日～6月14日	三島高校実習	介護体験実習	4
6月17日～6月21日	三島高校実習	介護体験実習	4
6月27日～6月28日	新規採用教職員実習	福祉体験実習	4
9月9日～9月13日	三島高校実習	介護体験実習	4
9月12日～9月13日	東部看護専門学校	看護体験実習	2
9月17日～9月20日	三島高校実習	介護体験実習	4
9月24日～9月25日	東部看護専門学校	看護体験実習	2
10月28日～11月1日	新規採用町職員実習	福祉体験実習	1
11月5日～11月15日	三島高校実習	介護体験実習	4
11月5日～11月6日	東部看護専門学校	看護体験実習	2
2月3日～2月13日	沼津中央高校実習	介護体験実習	22
H　25　合　計			53名
H　24　合　計			30名
増　　減			23名

１０　指定訪問介護事業

１　事業概要

要介護者等の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行うことによって、要介護状態の軽減若しくは悪化の防止又は要介護状態となることの予防に資することを目的として必要な援助を行った。

２　事業内容

(1)　身体介護に関すること

ア　入浴の介護
イ　排泄の介護
ウ　食事の介護
エ　衣類着脱の介護
オ　身体の清拭
カ　その他必要な身体介護

(2)　生活援助に関すること

ア　調理
イ　衣類の洗濯、補修
ウ　住居等の掃除、整理整頓
エ　生活必需品の買い物
オ　関係機関との連絡
カ　その他必要な家事

(3)　混合型（(1)身体介護、(2)生活援助）

３　利用状況

利用者数・派遣延べ時間　　（単位：人・時間）

	訪問介護					予防訪問介護		総利用者数（人）	総派遣延時間（時間）
	利用者数（人）	身体（時間）	混合（時間）	生活（時間）	計（時間）	利用者数（人）	派遣時間（時間）		
4月	22	103.0	256.0	0.0	359.0	9	71.0	31	430.0
5月	23	123.0	212.0	3.0	338.0	10	78.0	33	416.0
6月	22	97.0	253.0	3.0	353.0	9	73.0	31	426.0
7月	20	102.5	260.0	4.0	366.5	9	75.0	29	441.5
8月	19	84.5	224.0	5.0	313.5	9	75.0	28	388.5
9月	18	78.0	236.0	4.0	318.0	9	53.0	27	371.0
10月	17	90.0	216.5	4.0	310.5	10	52.0	27	362.5
11月	17	88.5	196.5	2.0	287.0	10	52.0	27	339.0
12月	17	88.5	200.5	2.0	291.0	11	60.0	28	351.0
1月	17	81.0	183.5	5.0	269.5	11	58.0	28	327.5
2月	17	82.5	189.5	4.0	276.0	12	74.0	29	350.0
3月	17	84.5	217.5	4.0	306.0	11	68.0	28	374.0
H25小計	226	1103.0	2645.0	40.0	3,788.0	120	789.0	346	4,577.0
H24小計	294	2,005.0	2,205.0	23.5	4,233.5	113	825.0	407	5,058.5
増　減	△68	△902.0	440.0	16.5	△445.5	7	△36.0	△61	△481.5

4　ヘルパー内部研修状況

開　催　日	内　　容	参加人数
4月13日	災害時の対応	17名
5月11日	ぼくは海がみたくなりました　鑑賞	14名
6月11日	高齢者、障害者の町の防災対策	16名
7月9日	認知症について	16名
8月10日	認知症について　高齢者の食べやすい献立	16名
9月14日	災害時の炊き出し　腎臓病の食事療法	16名
10月12日	口腔ケア　フットケア	16名
11月9日	訪問介護員禁止事項　重症心身障害児（者）対応	16名
12月14日	調理実習　骨を丈夫に（エネリア柿田川）	16名
1月11日	接遇・マナー	15名
2月7日	難病　胸郭出口症候群・生活援助ヒヤリハット	15名
3月8日	高齢者の疾患・状態に合わせた調理の工夫	15名
H 25 合 計		188名
H 24 合 計		154名
差　　異		34名

5　実習生受け入

受入月	受入れ団体	内容	人数
4月	Fuji アカデミー	同行訪問	3名
5月	Fuji アカデミー	同行訪問	2名
7月	Fuji アカデミー	同行訪問	1名
8月	Fuji アカデミー	同行訪問	1名
9月	Fuji アカデミー 東部福祉情報専門学校	同行訪問 同行訪問	2名 1名
10月	Fuji アカデミー	同行訪問	3名
H 25 合 計			13名
H 24 合 計			16名
差　　異			△3名

１１　障害福祉サービス　居宅介護・重度訪問介護・同行援護事業

１　事業概要

身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病者の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事の介護その他の生活全般にわたる必要な援助を行った。

２　事業内容

⑴　身体介護に関すること

ア　入浴の介護
イ　排泄の介護
ウ　食事の介護
エ　衣類着脱の介護
オ　身体の清拭
カ　通院等の介助
キ　その他必要な身体介護

⑵　家事援助に関すること

ア　調理
イ　衣類の洗濯、補修
ウ　住居等の掃除、整理整頓
エ　生活必需品の買い物
オ　関係機関との連絡
カ　その他必要な家事

⑶　相談及び助言に関すること

ア　生活、身上、介護に関する相談助言
イ　その他必要な相談助言

３　利用状況

（単位：人・時間）

	身体障害者				知的障害者				精神障害者				合計		
	利用者数	派遣回数	派遣時間 身体	派遣時間 家事	利用者数	派遣回数	派遣時間 身体	派遣時間 家事	利用者数	派遣回数	派遣時間 身体	派遣時間 家事	利用者数	派遣回数	派遣時間
4月	16	317	268.5	95.0	6	43	28.0	25.0	9	40	13.0	38.5	31	400	468.0
5月	16	329	241.0	88.0	5	39	28.0	19.0	8	40	12.0	54.5	29	408	442.5
6月	15	300	230.0	85.0	7	44	33.0	20.0	8	38	14.0	36.5	30	382	418.5
7月	16	310	270.0	91.0	7	37	37.0	20.0	8	46	15.0	48.0	31	393	481.0
8月	14	259	235.5	98.0	7	41	21.0	21.0	8	45	14.0	47.5	29	345	437.0
9月	14	260	258.0	89.0	7	51	33.5	24.5	7	41	22.0	45.0	28	352	472.0
10月	14	276	250.0	90.0	7	60	35.0	23.0	7	43	17.0	46.0	28	379	461.0
11月	14	242	212.5	88.0	7	48	28.0	20.0	7	41	17.0	44.0	28	331	409.5
12月	15	246	189.5	85.0	7	45	23.5	21.5	7	40	13.0	38.0	29	331	370.5
1月	15	258	215.0	89.0	7	42	22.0	20.0	7	41	17.0	44.5	29	341	407.5
2月	16	268	190.5	104.5	6	39	25.0	23.0	7	37	10.0	36.5	29	344	389.5
3月	16	275	271.0	101.5	8	49	30.0	26.0	7	40	13.0	36.5	31	364	478.0
H25合計	181	3,340	2831.5	1104.0	81	538	344.0	263.0	90	492	177.0	515.5	352	4370	5235.0
H24合計	179	4391	2740.5	1072.5	56	452	296	308.5	92	617	220.0	698.5	327	5,460	5,336.0
増減	2	△1,051	91	31.5	25	86	48	△45.5	△2	△125	△43	△183	25	△1,090	△101.0

１２　移動支援事業

１　事業概要

屋外での移動が困難な身体障害者、知的障害者、精神障害者,発達障害者の外出支援を行い、地域における自立生活および社会参加を促すことを目的として、社会生活上必要不可欠な外出や余暇活動などへの参加のための移動を支援する。ただし、通勤・通学等常時利用する場合は対象外となる。

２　事業内容

(1)　移動介助に関すること

ア　通院等の介助

イ　社会参加等の移動支援

(2)　相談及び助言に関すること

ア　生活、身上、介護に関する相談助言　　イ　その他必要な相談助言

３　利用状況

	利用者数（人）	派遣回数（回）	派遣時間（時間）
4月	3	12	28.0
5月	2	11	31.5
6月	4	12	42.0
7月	4	9	19.0
8月	4	18	40.5
9月	3	16	27.0
10月	4	10	25.0
11月	5	13	36.0
12月	3	12	27.0
1月	3	10	21.0
2月	3	9	27.5
3月	4	12	35.0
H25合計	42	144	359.5
H24合計	24	174	301.0
増　減	18	△30	58.5

１３　地域活動支援センター事業

１　事業概要

この事業は、身体障がい者の創作的活動、機能訓練等のサービスを通所事業として提供することにより、自立促進、生活改善、身体機能の維持向上等を図り、自立と社会参加を促進することを目的として実施した。

また、利用者が自らの動機づけを失わないようなケアを実施し、手段的日常生活動作（外出、買物、食事の仕度など）を促進した。特に同様の障がいをもつ方との情報交換や意見交換、地域社会との交流を通して、精神的な安定や気力を保ちながら明確な目標をもてるよう、障害福祉サービスの利用や多様な地域交流への参加について実践した。

２　事業内容

(1)　創作的活動事業（趣味・余暇活動）
(2)　社会適応訓練（外出訓練）
(3)　機能訓練
(4)　給食サービス
(5)　入浴サービス
(6)　送迎サービス

３　利用状況

月	開所日数	登録者数	利用延人数	主な行事等
4月	21	13	63	お花見
5月	21	15	84	輪投げ大会
6月	20	14	72	ハーモニカ演奏会
7月	22	14	81	納涼祭・七夕
8月	22	14	65	フルート・オカリナ演奏会
9月	19	14	71	敬朗老会（幼稚園児交流）、ふれあい交流
10月	22	14	92	長泉小学校交流会
11月	20	14	77	三島楽寿園（菊華展）散策
12月	19	14	79	クリスマス会
1月	19	14	71	初詣（三嶋大社）
2月	19	14	76	節分の豆まき・バレンタインデーのチョコ作り
3月	20	14	76	ひな祭り
H25合計	244	168	907	
H24合計	245	160	923	
増減	△1	8	△16	

4　活動報告

(1)　外出訓練：いちご狩り「長岡いちご狩りセンター」

(2)　趣味活動：ジグソーパズル、パソコン、書道、刺繍、パッチワーク、マスコット作り

(3)　創作活動：大人の塗り絵、壁装飾作品、絵手紙、切り絵

(4)　作業療法的活動：ビーズアート（壁掛け）、指編み（座布団作り）、マフラー編み

地域活動支援センターでの支援テーマは「仲間」であり、自分がどれだけかけがえのない存在であるか、そして自分らしさに気付き、発揮できるかといった課題をそれぞれがもって　生活し、支えてくれる人々の和を意識した内容を中心に活動した。

5　活動支援ボランティア

行事開催に伴う外出支援者、交流会支援者、日常生活支援者、整体師、体操指導者をボランティアとして受け入れた。

＊活動内容に関しては通所介護事業との合同開催の為、指定通所介護事業参照。

１４　心身障害児放課後対策事業

１　事業目的

長泉町心身障害児放課後対策事業は、保護者が労働等により昼間家庭で保育できない心身障がい児を対象として放課後の活動の場所を提供することにより、児童の健全な育成及び保護者の養育負担の軽減を図ることを目的とする。

２　事業内容

⑴　児童の健康管理、安全確保及び情緒の安定に関すること

⑵　その他児童の健全育成上必要な活動に関すること

３　利用状況

月	開所日数	登録者数	利用延人数	活動状況
４月	21	7	99	お花見
５月	21	7	112	園芸（ゴーヤ植付け）
６月	20	7	95	
７月	22	7	118	誕生会（読み聞かせ）
８月	22	7	95	公園等外出、プール、調理実習、誕生会
９月	19	7	106	誕生会（ミニ運動会）
１０月	22	7	122	
１１月	20	7	114	誕生会（小麦粘土作り）
１２月	19	7	106	クリスマス会（ふくろうの物語屋）、調理実習
１月	19	7	108	初詣、誕生会（パン食い競争）
２月	19	7	95	節分豆まき
３月	20	7	97	H26 年度利用者説明会、お別れ会
H25 合計	244	7	1267	
H24 合計	245	5	849	
増　減	－1	2	418	

4　ボランティア・実習生受け入れ

(1)　ボランティア

・中学生福祉体験学習　　2名　延べ8日間

・読み聞かせボランティア　7名　（ふくろうの物語屋）

(2)　実習生

H25年度受入れ実績なし。

5　研修

・わかあゆ職員研修（内部研修）　5名　講師：こども育成課・松本先生

・沼津特別支援学校関係機関参観会　4名

・御殿場特別支援学校関係機関参観会　5名

・児童家庭支援講座　1名

6　その他

・沼津特別支援学校事業所連絡会　1名

・平成26年度放課後児童会入会希望者（新1年生）を対象にした面接を実施した。結果、支援学校児童1名わかあゆへ入会。

１５　児童館事業

１　児童館の目的と概要

長泉町児童館は平成元年児童福祉法の児童厚生施設「小規模児童館」として開館した。児童に健全な遊びを与えその健康を増進し、情操を豊かにすることを目的として事業を実施した。

⑴　開館時間　午前９時から午後４時３０分
　　※夏季は午後５時まで　冬季は午後４時まで

⑵　休館日　月曜日ただし祝日の場合開館
　　福祉会館が定める休館日
　　年末年始（１２月２８日から１月４日）

⑶　対象者　概ね１８歳までの児童
　　※幼児は保護者同伴

⑷　図書貸出　一人１０冊、２週間（町内在住者対象）
　　年に２回程度、町民図書館からの団体貸し出し

２　運営

⑴　安全管理

利用者の安全管理と把握のため、利用者名簿の記入をお願いし、利用人数や遊びの状況に気を配る

⑵　環境設定

幼児及び児童が安心、安全に遊ぶことができるよう、屋内外の安全点検、環境設定をすると共に、保護者とのコミュニケーションを図る

①　室内における遊び場の環境づくり
②　遊びの提供
③　盤ゲーム等の貸し出し・管理
④　季節に合わせた壁面構成による環境づくり
⑤　ポスター掲示、チラシ等情報提供
⑥　育児相談・情報提供
⑦　砂場の管理・設営
⑧　遊具の日常点検
⑨　児童の居場所づくり

３　安全対策

・遊具定期点検業務委託（年１回）
・救急医薬品の常備
・夜間警備の業務委託（福祉会館事業）
・防犯カメラによる施設管理（館内４ヶ所）
・福祉会館の防災訓練への参加

・独自の防災訓練実施（地震・火災・事故）

4　備品等の整備

(1)　室内遊具

・卓球台 H24 設置、ピアノ、つり橋 H21 設置　他

(2)　屋外遊具

・ビッグスライダー（大型複合遊具）H7.3 設置、砂場、ラクダン（シーソー）H4 以前に設置、おむすびヨット H9.2 設置→H26.3 老朽化に伴う破損により撤去、ブランコ H11.8 設置

5　地域との連絡

(1)　児童館だより「こどものひろば」を毎月作成・発行

①　町内小学校配布、町内幼稚園保育園配布

②　役場　他、主な公共施設に配布

③　特別行事のときはポスター等作成して掲示

(2)　小地域活動との連携

ふれあいサロン　シャルマン竹原区 11 回実施　のべ 45 人参加

6　利用状況

	開館日数		幼児		小学生		中学生		一般		合計		1 日平均	
	H25	H24	H25	H24	H25	H24	H25	H24	H25	H24	H25	H24	H25	H24
4月～9月	161	160	2,799	2,596	1,933	1,581	66	105	2,768	2,365	7,566	6,647	47.0	41.5
10月	26	25	404	446	171	189	7	9	388	420	970	1,064	37.3	42.6
11月	26	25	342	423	147	155	12	3	339	373	840	954	32.3	38.2
12月	24	24	339	300	190	145	11	11	302	272	842	728	35.1	30.3
1月	24	24	264	363	125	167	4	2	285	361	678	893	28.3	37.2
2月	24	25	321	414	205	145	7	4	341	401	874	964	36.4	38.6
3月	26	27	567	554	310	384	24	10	441	485	1,342	1,433	51.6	53.1
合　計	311	310	5,036	5,096	3,081	2,766	131	144	4,864	4,677	13,112	12,683	42.2	40.9

7　行事

(1)　未就園児定例行事

	プチめろんタイム	めろんタイム
対象	2歳～2歳6ヶ月の未就園児と その保護者　15組	2歳7カ月以上の未就園児と その保護者　15組
年間目標	遊びを通して、親子のかかわりを 深める	遊びを通して、お友だちの存在を 意識する
活動日	8月を除く毎月1回 10:00～10:30	8月を除く毎月1回 10:00～10:40
指導者	児　童　厚　生　員	
参加者数	4月～3月全11回　のべ104組	4月～3月全11回　　のべ108組

(2)　小学生定例行事

①　チャレンジSATURDAY

毎週土曜日の終日、①ハンドで25　②まいてけまいてけ　③つんでけつんでけ
3種目にチャレンジする（１０月～）

②　チャレンジタイム

原則毎月第一土曜日、講師または児童厚生員による、ものづくりや、体験をおこなう

日にち	活　動　名	指導者	参加費	参加者
4月20日(土)	第1回児童館オリンピック	児童館職員	無料	8人
5月18日(土)	第2回児童館オリンピック	児童館職員	無料	3人
6月29日(土)	フラダンス体験	中村明美氏 他2名	無料	15人
7月 6日(土)	チャレンジDAY	児童館職員	無料	6人
8月 1日(木)	チャレンジ夏休み 備長炭で電池作り	関東電気 保安協会	100円 (保険料)	13人
8月8日(水)	チャレンジ夏休み パコパコ革財布	木村和昭氏	400円 (材料費・ 保険料)	14人
8月10日(土)	チャレンジDAY	児童館職員	無料	4人
9月7日(土)	チャレンジDAY	児童館職員	無料	0人
9月～10月 毎週土曜日	福祉健康まつり 小中学生スタッフ	児童厚生員	無料	4人
2月1日(土)	親子フラダンス体験	中村明美氏 他2名	無料	26人
2月22日(土)	フラワーアレンジメント	高島桃代氏 他1名	1,000　円 (材料費)	5人

③　一輪車教室

ア　目　　的　　異年齢・別校区のグループ活動を通して、仲間同士の教えあいやいたわり等の感情に気付かせるとともに、体力・技能・集中力を増進する

イ　対　　象　　小学生（会員制）　前期２８人　後期２３人

ウ　活 動 日　　前期４月～９月、後期 10 月～３月の月１回　土日のいずれか
エ　指 導 者　　神谷耕廣（日本一輪車協会会員）
オ　参加者数

	前　期	後　期
実施日	4/21(日)・5/19(日)・6/16(日) 7/7(日)・9/21(日)　全５回	11/17(日)・12/1(日)・1/26(日) 2/23(日)・　3/9(日)　全５回
のべ参加者数	108 人	93 人

(3)　単発行事

日時	活動名	指導者	対象	参加者
6 月 15 日（土） 13:30～15:00	観劇教室	影絵劇団 かしの樹	4 歳以上	70 人
8 月 2 日（金） 10:00～11:00	ぱんぷきん公演	読み語りグループ ぱんぷきん	どなたでも	44 人
11 月 9 日（土） 14:00～15:00	児童館えいがまつり	職員	どなたでも	33 人
3 月 25 日（火） 10:00～11:00	ぱんぷきん公演	読み語りグループ ぱんぷきん	どなたでも	49 人

8　サービス向上の取り組み

(1)　月曜祝日の場合の開館

4/29（来館者数 54 人）・5/6（42 人）・7/15（31 人）・9/16（6 人）・9/23（43 人）・10/14（38 人）・11/4（31 人）・12/23（21 人）・1/13（17 人）　全９回平均 31.4 人

(2)　図書貸し出しルール変更

・貸し出し期間　　１週間　→　２週間
・貸し出し冊数　　１人５冊まで　→　１人１０冊まで
・２５年度貸し出し実績 1,198 冊　　２４年度 944 冊
・貸し出し方法　　貸し出し簿記入　→　個人の貸し出し票作成

9　他施設との連携

(1)　町内子育て支援センターとの連携

・毎月のおたより掲示
・「子育てフェスティバル」協力（11 月 7 日（木）約 130 組の未就園児親子来場）
・利用者情報の共有

(2)　放課後児童会　事務の一部

・日誌点検・検印（毎週）
・指導員 26 名の賃金計算（毎月末）
・月報、会計報告のとりまとめ（毎月初）
・消耗品のとりまとめ（年度末と必要に応じて）
・その他日常的に細かい事務の補助

１６　小口資金貸付事業

１　事業目的

長泉町に居住し、かつ住所登録のある低所得者で、緊急又は不時の出費を要する者に対し、生活困窮者の自立と福祉の増進を図るため、民生委員と連携して生活指導及び小口資金の貸付けを行った。

２　小口資金利用状況

(1)　平成２５年度の貸付状況

申　込　状　況		決　定　状　況		申込に対する決定率	
件数	金　額	件数	金　額	件数(%)	金　額 (%)
2件	50,000円	2件	50,000円	100%	100%

(2)　平成２５年度の償還状況

項目	貸　付　金　額		償　還　金　額		不能欠損額		貸付残高 ①-②-③
	件数	金　額①	件数	金　額②	件数	金　額③	金　額
当年度分	2件	50,000円	2件	32,000円	0件	0円	18,000円
過年度分残高	17件	450,232円	8件	103,789円	1件	18,000円	328,443円
合計	19件	500,232円	10件	135,789円	1件	18,000円	346,443円

Ⅱ　特別会計

1　在宅福祉総合センター事業

1　事業目的

在宅福祉総合センターいずみの郷では、住民相互の交流を図るため、集会室、研修室を月曜日から土曜日まで開館し、文化教育の場として活用し、また各種団体の会議や研修会等に利用していただいた。

2　管理業務の委託状況

(1)　総合清掃管理業務

①　日常清掃（土・日・祭日及び年末年始を除く毎日）

②　定期清掃　床面洗浄・床面洗浄ワックス塗布（年６回）

③　床面剥離洗浄清掃（年１回）

④　カーペットスチームクリーニング（年２回）

⑤　アルミカーテンウォール清掃（年１回）

⑥　外周窓ガラス清掃（年４回）

⑦　衛生管理　鼠及び衛生害虫駆除作業（年２回）室内空気環境測定業務（年６回）

⑧　貯水槽の清掃消毒作業及び設備点検（年１回）

⑨　水質検査１５項目水質検査（年２回）１１項目水質検査（年１回）

⑩　簡易専用水道水検査（年１回）

⑪　浴用水管理　浴用水、レジオネラ菌検査２回/年

(2)　エレベータ点検（月１回）エレベータ機器の保守点検

(3)　夜間警備業務（毎日）夜間の機械警備業務

(4)　合併処理浄化槽点検（月２回）汚水処理施設の保守点検（年１回）清掃(年２回)

(5)　給水設備点検（年１回）給水設備（貯水槽、給水ポンプ）の保守点検（年１回）

(6)　電気保安業務（月１回）機械室内変圧器等、変電・発電設備の点検

(7)　設備巡回点検（月３回）

(8)　ボイラー設備点検（年１回）

(9)　消防設備点検（機器点検：年１回　総合点検：年１回）自動火災報知設備
屋内消火栓・誘導等及び誘導標識・非常放送設備・消火器の点検・防火戸、防火シャッター・ガス漏れ火災報知設備・火災通報装置・非難器具、救助袋

(10)　自動ドア点検（年２回）機器の保守点検

3　施設利用状況（平成25年4月～平成26年3月）

(1)　長泉町在宅福祉総合センター利用状況　　（単位：人）

月	開所日数	集会室		小　計	研修室		小　計	合　計
		有　料	無　料		有　料	無　料		
4月	26	304	740	1,044	88	224	312	1,356
5月	27	217	878	1,095	115	252	367	1,462
6月	25	181	733	914	110	284	394	1,308
7月	27	152	723	875	117	202	319	1,194
8月	27	135	310	445	94	139	233	678
9月	25	115	665	780	93	206	299	1,079
10月	24	70	435	505	139	127	266	771
11月	26	90	468	558	65	93	158	716
12月	23	101	442	543	75	124	199	742
1月	23	112	327	439	93	79	172	611
2月	24	97	411	508	76	99	175	683
3月	26	107	521	628	85	203	288	916
H25合計	303	1,681	6,653	8,334	1150	2,032	3,182	11,516
H24合計	303	1,920	10,305	12,225	849	2,781	3,630	15,855
増減	0	△239	△3,652	△3,891	301	△749	△448	△4,339

4　利用件数及び利用率

月	集会室			研修室		
	件　数		利用率(%)	件　数		利用率(%)
	有料	無料		有料	無料	
4月	13	18	59.6	7	15	42.3
5月	7	26	61.1	10	17	50.0
6月	8	18	52.0	9	20	58.0
7月	7	19	48.1	10	13	42.6
8月	9	10	35.2	9	9	33.3
9月	6	16	44.0	9	14	46.0
10月	3	7	20.8	15	10	52.1
11月	3	24	51.9	10	13	44.2

12月	4	14	39.1	9	12	45.7
1月	7	8	32.6	12	9	45.7
2月	6	12	37.5	9	11	41.7
3月	5	17	42.3	11	22	63.5
H25合計	78	189	44.1	120	165	47.0
H24合計	95	267	59.7	67	204	44.7
増　減	△17	△78	△15.6	53	△39	2.3

※利用率：実利用回数／利用可能回数*100

5　水道光熱及び燃料使用量

	水　道　光　熱　費		燃　料
	電気代 (単位：kwh)	水道代 (単位：㎥)	(単位：L)
4　月	21,782	1,032	4,000
5　月	20,785		4,000
6　月	24,629	1,612	4,000
7　月	24,207		4,000
8　月	25,331	1,930	6,000
9　月	26,836		6,000
10　月	25,217	1,566	4,000
11　月	23,239		4,000
12　月	24,223	988	6,000
1　月	23,743		4,000
2　月	26,980	900	8,000
3　月	22,324		4,000
H 25合計	289,296	8,028	58,000
H 24合計	283,728	8,402	60,500
増　減	5,568	△374	△2,500

6　安全対策

(1)　在宅福祉総合センター入場者傷害保険

施設利用者を対象とした傷害保険に加入した。

①・1名あたりの担保内容、年間保険料

種　別	補償額	備　　考
死亡・後遺障害	５００万円	会館利用者を対象とする。
入院日額	３，０００円	事故の日から180日を限度とする。
通院日額	２，０００円	事故の日から180日の間のうち、90日の通院を限度とする。

② 保険内容

ア　入院、通院を合わせて180日をもって限度とする。

イ　来場者が福祉会館へ入場してから退出するまでの傷害事故が対象となる。

ウ　来場者の往復途上、職員等の労災事故、天災（地震、噴火、津波）は保険の対象外とする。

(2) 防災訓練の実施

① 長泉町総合防災訓練に合わせた訓練

実　施　日：8月25日（日）8時15分から12時まで

訓練参加者：職員

訓 練 内 容：防災倉庫資機材点検、消防署通報訓練、桃沢避難地区住民誘導訓練、利用者避難誘導訓練、消火設備点検・確認、消火栓取扱訓練

(3) インフルエンザ対策

正面玄関及びデイサービス通用口、食堂入口付近に感染予防のためのチラシを配布し、併せて施設利用者用の消毒剤（器）を設置して感染予防対策を講じた。

7　修繕等実施状（10万円以上）　　（単位：円）

項　　目	金　額	内　　容
保健センター西側法面伐採作業	941,850	法面樹木伐採、草刈り
ベンチ修繕	714,000	部材の劣化による木材交換、塗り替え
厨房排気ファン部品交換	316,050	部品の摩耗による
外周樹木伐採作業	865,200	周囲の剪定作業による
樹木剪定作業	147,000	周囲の剪定作業による
H 25 合 計	2,984,100	

8　視察等見学者受け入れ状況

期　日	団　体　名	人数
4月2日	役場新規採用職員	9名
6月27日・28日	平成25年度新規採用教員研修	2名
7月10日・16日	長泉小学校6年生	173名
2月17日	長泉町立北小3年生	144名
合　　計		328名

2　在宅福祉総合センター食堂事業

（1）　食堂売上金収入内訳

	デイサービス給食					小 計	一般食堂 (単位：円)	合 計 (単位：円)
	B型デイ (単位：食)	予防デイ (単位：食)	E型デイ (単位：食)	地　活 (単位：食)	その他 (単位：食)			
4月	421	47	173	63	0	704食 (457,600円)	249,700	707,300
5月	412	58	158	84	0	712食 (462,800円)	277,785	740,585
6月	368	66	152	72	0	658食 (427,700円)	374,850	802,550
7月	381	75	162	81	0	699食 (454,350円)	305,995	760,345
8月	370	70	143	65	0	648食 (421,200円)	212,985	634,185
9月	348	59	144	71	1	623食 (404,950円)	298,210	703,160
10月	369	66	158	92	0	685食 (445,250円)	297,850	743,100
11月	360	53	148	77	2	640食 (416,000円)	208,870	624,870
12月	340	57	128	79	0	604食 (392,600円)	245,930	638,530
1月	349	59	121	71	0	600食 (390,000円)	254,385	644,385
2月	365	56	123	76	0	620食 (403,000円)	253,530	656,530
3月	402	53	125	76	0	656食 (426,400円)	378,085	804,485
H25 合　計	4,485	719	1,735	907	3	7,849食 (5,101,850円)	3,358,175	8,460,025
H24 合　計	4,786	542	1,949	907	0	8,184食 (5,319,600円)	3,906,119	9,225,719
増減	△301	177	△214	0	3	△335食 (△217,750円)	△547,944	△765,694

（3）　サービスチケット及び給食ボランティア参加状況

	サービスチケット 利用者延人数 (単位：枚)	給食ボランティア 参加者延人数 (単位：人)	個人・団体内訳
4月	5	57	団体参加者45名　個人参加者12名
5月	4	72	団体参加者52名　個人参加者20名

6月	4	83	団体参加者58名　個人参加者25名
7月	4	76	団体参加者54名　個人参加者22名
8月	3	73	団体参加者53名　個人参加者20名
9月	3	74	団体参加者53名　個人参加者21名
10月	4	63	団体参加者39名　個人参加者24名
11月	3	61	団体参加者40名　個人参加者21名
12月	2	60	団体参加者37名　個人参加者23名
1月	2	55	団体参加者23名　個人参加者32名
2月	3	64	団体参加者32名　個人参加者32名
3月	3	59	団体参加者23名　個人参加者36名
H25合計	40	797	団体参加者509名　個人参加者288名
H24合計	65	815	団体参加者827名　個人参加者689名

※給食ボランティア参加団体名

さくらの会、萩の会、長泉ボランティア、みちの会、虹の会、木苺の会、四六会、愛護の会
長泉町女性会、中土狩セミナー、きさらぎの会、ホーム喫茶ボランティア

※給食ボランティア登録者数　（単位：人）

	団体登録者数	個人登録者数	合　計
H25.4.1	56	33	89
H24.4.1	62	36	98